

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

自025-18

No.	内容	対応案
	12. 民主党政権から自民党安倍政権に変わり、それまでの財政削減政策から、一気に公共事業ばら撒き型の国土強靱化政策で各地の高速道路計画が復活したが、今の政権はいままでも続かないことを冷静にみるべきである。数年して、高速道路の新設は凍結される可能性もある。そうした他力本願の計画を町づくりビジョンの中心にするのはいかなものだろうか。もっと真に地域力を寄せ集めるような事業こそ町づくりの中心に据えるべきではないだろうか。 13. どうしてもこの道路を造る必要があると言うのなら、南麓の景観保全や地域生活への影響を最小とする配慮・工夫がいる。森林保全や野生生物への影響もあてはならない。盛り土で壁を作り、獣害を防ぐという人がいるが、野生生物保護の観点から全くナンセンスである。南麓ルートは、全線地下または暗渠で作る。あるいはレインボーラインよりずっと上の森林地帯に造る。森林伐採という自然保護上の問題が大変だ。 14. 日本ミツバチの生息に大きなダメージを与えるおそれがある。 予定ルートの標高域は日本ミツバチの生育ルートであり、養蜂家も多い。日本ミツバチはまた果樹の受粉や、ナラ、シイ、クスギなどのドングリの実をつける広葉樹林の生育にも欠かせない役割を担っている。その日本ミツバチは近年農業機や生息域の環境悪化により激減しているという。このルートに高速道路を通したら、わずかに残る高樹林の伐採と、ミツバチの飛翔に多大な影響を与える高速道路は、日本ミツバチの生育環境に大きなダメージを与える可能性がある。 15. 高速道路は、北杜市の目玉の一つであるハケ岳南麓に生息するオオムラサキに悪影響を及ぼさないか心配である。 16. 高速道路新設の費用便益分析の基本データとなる。国葬141の交通量や、高速道路による、野辺山―長坂―須玉間に対する、国道141による野辺山―須玉間の時間短縮効果などのデータを市民に示し、税金の無駄遣いにならないか早急に検証してほしい。 17. 農業用水路は多自然型の用水路として、積極的な水辺環境整備を行うこと。 ハケ岳南麓は、晴天が続いても河川の水が枯れることがないほど湧水が豊富である。この豊かな水が南麓の水田を支えている。農業用水路の整備があらこちで行われているが、コンクリートのU字溝やコンクリートの三面張り工法が行われている。農業用水路の果たす機能はただ水田に水を運ぶためのものだけではなく、水生生物の生息などの自然環境や、地域の環境・景観に重要な役目を負っている。国(農水省、環境省、国交省)も自然豊かな農業用水路を推奨している時代である。 18. 北杜市にはヤマメやオオムラサキに代表される貴重な動植物が多く生息していることから、動物の移動経路や食住環境の確保、貴重植物の移植による保全など生息にのほかに、共存できる工夫や動植物への影響を最小限に抑える方策など、貴重な動植物に配慮したまちづくり・みずくりの取組が必要と考えます。などと言っているが、貴重植物は現在の場所にあつてこそ貴重なものであつて、移植した場所ですぐに生息できる保証などない。今ある自然環境が北杜市の大切な財産と考えるなら、南麓に高速道路を通しことを前提とした町づくりはナンセンスである。	「南麓の景観保全や地域生活への影響を最小とする配慮・工夫がいる。森林保全や野生生物への影響もあてはならない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 「南麓の景観保全や地域生活への影響を最小とする配慮・工夫がいる」、「南麓ルートは、全線地下または暗渠で作る。あるいはレインボーラインよりずっと上の森林地帯に造る」、「農業用水路は多自然型の用水路として、積極的な水辺環境整備を行うこと」、「ハケ岳南麓は、晴天が続いても河川の水が枯れることがないほど湧水が豊富である。この豊かな水が南麓の水田を支えている。農業用水路の整備があらこちで行われているが、コンクリートのU字溝やコンクリートの三面張り工法が行われている。農業用水路の果たす機能はただ水田に水を運ぶためのものだけではなく、水生生物の生息などの自然環境や、地域の環境・景観に重要な役目を負っている。国(農水省、環境省、国交省)も自然豊かな農業用水路を推奨している時代」、「これから改修する農業用水路は三面張りやU字溝ではなく多自然型の工法を採用すること。周辺地域に比べ北杜市はこうしたことへ配慮する姿勢が運れているのではないかと。多様な自然環境・景観保全を町づくりビジョンの第一に挙げているのならこうしたことも明文化すべきではないか」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 「予定ルートの標高域は日本ミツバチの生育ルートであり、養蜂家も多い。日本ミツバチはまた果樹の受粉や、ナラ、シイ、クスギなどのドングリの実をつける広葉樹林の生育にも欠かせない役割を担っている。」「北杜市の目玉の一つであるハケ岳南麓に生息するオオムラサキに悪影響を及ぼさないか心配である」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。
32	議題:パブリックコメント 中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 ＜パブリックコメント＞ ★高速道路に反対 中部横断道は長野と東海道を結ぶ道路で山梨は通過点にすぎないことは明らか。 軽井沢から横浜に向かう人がわざわざ北杜市で降りるはずがない。 排気と騒音を残して通り過ぎる車のために北杜市の豊かな自然を犠牲にすることは受ける故郷を自分の金・地位・名譽のために売り渡す行為であり、今中国で騒がれている官僚の行為と極めてよく似ている。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「中部横断道は長野と東海道を結ぶ道路で山梨は通過点にすぎないことは明らか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「排気と騒音を残して通り過ぎる車のために北杜市の豊かな自然を犠牲にすること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。
34	議題:パブリックコメント 中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 パブリックコメント 高速道路に反対である。 日本の他の地域に比べこの北杜市は衰退することなく着実に進化してきている。 これは北杜市が他地域からの移住者を受け入れてきた結果であると思うがその移住者は北杜市の魅力に惹かれて移り住んでいる。人口が増えて市内の商店も潤い新旧住民が一緒になってこれまでにない新しい魅力も生まれてきている。 この北杜市の魅力の原点は何といっても豊かな自然と雄大な景色であり、人工的に造ることの出来ないこの地の自然から生まれたものである。 高速道路はこのかけがえのない魅力を壊してしまう。魅力がなくなれば移住者も減って次第に人口は減少し、高速道路沿線によく見られる過疎の部落に逆戻りしてしまう。 子孫に対する責任に目をつぶって、壊すことに無神経な人が故意に高速道路の建設を進めることが一番問題である。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「北杜市の魅力の原点は何といっても豊かな自然と雄大な景色」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

自025-19

No.	内容	対応案
37	標題: 町づくり素案について(パブリックコメント) 中部横断道がつくられたら、ハケ岳南麓はいわゆる通過型観光地になってしまい宿泊客は間違いなく激減すると思う。地元観光業者は多くが廃業に追い込まれるのではと危惧している。長坂から佐久へつなげる構想のようだが、その先には軽井沢という日本一の観光地が控えているのを忘れてはいけない。清里近くにICを作るのも聞いているが、今の清里の状態で軽井沢に対抗できると本当に考えているのか。大泉・高根も含めた南麓の地域経済は大打撃をうけると思う。中部横断自動車道はつくらずに、141号線の整備を進めたほうが地元の経済にとってはよほど有益だと思う。高速道路ができれば人が集まるという30年前の考えに振り回されず、ハケ岳南麓のすばらしい景観という、地域の宝を生かした、町づくりを考えるべきだと思う。それこそ、市の進めている滞在型観光圏づくりへの近道ではないか。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「中部横断道がつくられたら、ハケ岳南麓はいわゆる通過型観光地になってしまい宿泊客は間違いなく激減すると思う。地元観光業者は多くが廃業に追い込まれるのではと危惧している」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針」に「にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「141号線の整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②」:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「ハケ岳南麓のすばらしい景観という、地域の宝を生かした、町づくりを考えるべきだと思う。それこそ、市の進めている滞在型観光圏づくりへの近道ではないか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③」:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に位置づけられています。
38	1. 工事に10年もかかり、その期間中の工事場周辺は、騒音とダンプの通行、ホコリで生活環境が悪くなる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 2. 高速道路の保守費用は、ずっと続く。今の北杜市や県は、いまの道路の保守も出来ない状態だ。合併特例の交付金も無くなるし。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 3. 141号線改修で、環境の負担も少なく費用も安い。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 4. 141号線を改修すると、沿線の店も活性化される。店も多くなる。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 5. Bルート前提の活用検討委員会はおかしい。住民の意見をルートをきめるべき。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 6. 高速道路によって生活の場と自然の場が分断される。この地への移住者は、自然の中での暮らしを求めてきた人で、これでは逃げ出す住民や、この地に移住しようとする人は来なくなるだろう。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 7. 環境・景観にやさしく利便性のある道路を目指すなら、自然への影響が少ない、既にある141号線改修がよい。南麓を通す高速道路反対 8. 環境を大切にしながら、という視点が大事で、生活面も重要である。それに対応できるのは、141号線改修だけだ。南麓を通したら環境と生活の両方が駄目になる 9. 滑らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重である。高速道路開発で、それらは絶対に失われる。高尾でも、滝が枯れることが無いと言われたが、実際には枯れた実績がある。壊れた自然は戻らない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 10. 救急医療面を課題に挙げているが、元々、山梨県側は、甲府方面に搬送しているので、問題ない。山岳地域の救急搬送は、ドクターヘリか、救急病院を配置すべき。道路を造って解決する問題ではない。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 11. 防災面でも141号線改修で、ミッシングリンクの解消条件である60km/hで走れる道路は一部バイパスなどの改修で可能。南麓を通す高速道路反対・141号改修を 12. 山岳景観を売り込んでいるので、景観を守って欲しい。南麓を通す高速道路反対・141号改修を	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「141号改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②」:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「工事場周辺は、騒音とダンプの通行、ホコリで生活環境が悪くなる」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 「高速道路の保守費用は、ずっと続く」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。 「高速道路によって生活の場と自然の場が分断される」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③」:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。 「高速道路によって生活の場と自然の場が分断される」、「環境・景観にやさしく利便性のある道路を目指す」、「南麓を通したら環境と生活の両方が駄目になる」、「滑らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重である」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①」:豊かな自然環境との調和」、「P13環境・景観「視点②」:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点④」:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。 「山岳景観を売り込んでいるので、景観を守って欲しい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②」:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。
42	中部横断自動車道活用検討委員会御中 パブリックコメントとして意見を述べます。北杜市は市民から広く意見を聞くためコメントを募集しましたが、この募集自体に問題が存在します。それは北杜市民全体に対する公平性の問題です。 その理由として活用検討委員会のパブリックコメントは市のホームページで市民に知らせています。パブリックコメントを持っている格好な市民しか知れない事実です。持っている市ホームページをくまなく見なければ知りえない。これは市民に対して平等、公平とは言えない行為だと思います。 本当に市民全体の意見が聞きたいのなら、新聞広告やチラシのポスティングなど市民全体の意見を聞くべき体制をとるべきです。ましてや公務員が募集関係者に多い場合、地方公務員法により市民に対して公平性を求められています。 一部の意見だけを聞き締め切ることには法律に抵触すると思います。 又、市民からの内容証明文による行政への質問には真摯に答えるべきです。 この様な意見の聴取をしても第3回フォーキングの附帯事項はクリアできないと思います。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や地域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまらず、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「北杜市民全体に対する公平性の問題」、「市民に対して平等、公平とは言えない行為」、「市民に対して公平性」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

自025-20

No.	内容	対応案
43	◆中部横断自動車道の長坂一小諸ルートに反対します。 ①道路はなるべく多くの人が使えるような工夫が必要です。高速道路では通過車両ばかりが増え、道路の周辺には騒音、日照、景観など様々な被害を引き起こします。小諸へのルートは現行の国道147の整備で十分です。147が現行で不十分であるなら交通量に見合った道路に改造すべきです。北杜市はこの土地にとって高速道路が本当に必要かどうかをもっと具体的に調査すべきです。このままでは、旧住民と新住民・別荘住民との反発や不信感が広がるばかりで、ほんとに悲しい状態です。 ②新ルートの決定過程にも不満です。私が新ルート案を聞いたのは平成25年12月30日です。新ルートはこれまでのルートではない地域も入っています。その中に私の家はあります。事前に何の連絡もいまま突然当事者になってしまいました。旧ルートでは反対が多いので3キロ幅を1キロ幅に縮め、かつこれまで反対者のいなかった地域にルートを通ることで、反対運動を弱めようとしたのではないかと勘繰っています。“間討ちだ”というのが私の実感で、許し難い思いを持っています。これは北杜市の問題ではないかもしれませんが、こうした不信感を北杜市が引き受けなくてはならないのは不幸なことだと思います。以上	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「高速道路では通過車両ばかりが増え、道路の周辺には騒音、日照、景観など様々な被害を引き起こします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。
46	私は、豊かな自然、貴重な動植物、そしてこのハケ岳の雄大な景観を台無しにする中部横断自動車道の建設に反対です。 この地域は首都圏から移り住んでく人が多い場所です。その理由は、北杜市でもうたっているようにこの自然環境が人を魅了するからだと思います。実際、このハケ岳南麓には、自然を求め多くの観光客が、オーガニックな野菜や、ハイキングや、ツーリング、ロードレースなど、さまざまな自然を求めて来ています。この自然は大切な観光資源です。このハケ岳南麓だからこその自然をテーマにしたイベントも行われています。そんな、自慢できる観光資源を自ら壊す高速道路は、このハケ岳南麓には必要ありません。 全国各地の観光地で、高速道路や新幹線などの建設でかつて観光地として機能しなくなった町が多くあります。要するに、中部横断道ができれば北杜市は通過されるだけで没落してしまうという声もとても多い。私もここで自営業をしていますが仕事が来なくなる可能性があり、死活問題です。ここで、観光客を対象に経営をしているレストランやパン屋さんなど大きな打撃を受けることは必至です。 北杜市にはすでに須玉インター、長坂インター、小淵沢インターと3つもインターチェンジがあります。観光で訪れるみなさんはそれぞれの目的のインターを選んで降りています。別荘やホテルまで買い物をしたり、食事をしたり、その行程が楽しいのではないのでしょうか。これ以上何が必要だと言うのでしょうか、私は現時点で十分なインフラが整っていると思っています。 今、ここに中部横断道を作ることこそ世界の流れと逆行していると言わざるを得ません。インフラを整備するよりも、もっと魅力的な自然を作る努力をしてはどうでしょうか。森林整備や農業の制限、荒れた登山道の整備、貴重な動植物の保護など、積極的に自然をアピールして高速道路に頼らない試みをするべきだと思います。 ミッシングリンクの解消は新設道路を使う必要はないと国交省自らが言っています。141号を改良し自然を徹底的に壊さない北杜市になるべきだと思います。それこそが北杜市のイメージになると、私は考えます。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「自然環境が人を魅了する」「このハケ岳南麓には、自然を求め多くの観光客が、オーガニックな野菜や、ハイキングや、ツーリング、ロードレースなど、さまざまな自然を求めて来ています。この自然は大切な観光資源」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に位置づけられています。 「中部横断道ができれば北杜市は通過されるだけで没落してしまう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「自営業をしていますが仕事が来なくなる可能性があり、死活問題です。ここで、観光客を対象に経営をしているレストランやパン屋さんなど大きな打撃を受けることは必至です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 「森林整備や農業の制限、荒れた登山道の整備」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。 「貴重な動植物の保護など、積極的に自然をアピール」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。 「141号を改良し」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
47	わたしがここに居を構えて10年になります。もともと山が好きで老後は山でという思いからここに越してきました。今ではこちらで友達もでき、楽しい毎日を送っています。中部横断道ができる、それも我が家の真上が計画ルートに入っているのを聞き、今は家族で反対の声明を出しています。なぜ、このような風光明媚な場所に高速道路が必要なのでしょう。わたしだけでなく、中部横断道で困る人が多く出て、地域の亀裂が走るこの北杜市で将来を過ごす人々たのことを考えているのでしょうか？私は中部横断道建設には絶対反対です。そして市で行われている活用検討委員会にも反対しています。もっと住民の声を聞くべきです。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「風光明媚な場所」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

自025-21

No.	内容	対応案
意見	市政を運営する皆さま、北杜市と住民のために日夜ご努力いただきありがとうございます。 中部横断自動車道の北杜市管内の建設については、昨年の国交省による説明会などで市民の意見集約を見てもわかる通り、国道141号改修案の意見がもっとも多く、高速道路建設を推進する北杜市と、有用な自然住環境をもとめて反対する多数の市民との妥協案として、「もっとも良い」方法だと思えます。 現在、ルートとしては「B案」が浮上していますが、国土交通省が正式に決定したわけではありません。このように「建設の賛否、ルートの選定」について市民の意向が交錯する大問題」ですので、このような意見の募集は不意な市民、市政への不審、対立を生むだけです、時期尚早と思えます。 この意見の募集は「正式なルート決定後」に行っても良いのではないかと思います。 以上	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「国道141号改修案」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「くらし視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
48	中部横断自動車道を前提としたまちづくりは、北杜市の未来をなくすものです。今検討すべき事は、北杜市にとって高速道路が有益か、それとも国道141号の整備改善が有益かを検討すべきではないでしょうか。 素案の「豊かな自然環境との調和」「優れた山岳景観と農村景観の保全」「良好な生活環境」「貴重な動植物との共存」のまち作りはすばらしい。でも、高速道路の建設は、これらすべて悪化させるだけで、なんらメリットはもたらしません。 ・国道141号の整備改善が、全ての面でメリットがあり、有益です。 ・ハケ岳南麓(須玉川、川俣川の西側地域、及び津金)に高速道路の建設は反対です。 国道141号の整備改善なら、これらは、全て可能です。さらに、世界一流のハケ岳南麓からの眺望景観も保全されます。高速道路ではなく、景観と環境を優先して国道の整備を選べば、日本全国だけでなく世界でも注目され、多くの人々が訪れ、北杜市は今後発展していくことになります。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「国道141号の整備改善」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「くらし視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
49	高速道路は、北杜市にとって最も重要な景観を破壊します。雄大で美しい眺望景観こそ北杜市が守らなければならないもの。この世界一流の景観が、多くの人々、観光客を呼び込み、観光業、不動産業、リゾート関連産業、建設業、運送業、農業、小売業など地域経済は、既に多くの恩恵を受けて来ています。 美しい山並みの眺望は、手前の田園風景が美しいから、美しいのです。高速道路は、その手前の田園風景を壊すもので、山並み景観を台無しにします。高速道路は、騒音や振動、光害などをまき散らします。この静寂な地域での影響は想像を超える悪化です。国道141号を整備改善なら、景観や自然が守られ、騒音や振動、光害の心配はありません。静寂な星空が確保され、平穏な生活権も脅かされることはありません。また、生活道路である国道141号の安全性、速達性が高まることは、北杜市民だけでなく、観光客、長野県の住民にとっても大変ありがたく、便利さが増します。 国道141号の改善整備なら、景観、自然が守られるため、人々が集まり、北杜市は発展します。全てにおいて、国道141号の改善整備の方が勝り、将来においても、北杜市のまち作りにメリットをもたらします。反対に、高速道路の建設は、全ての面においてマイナスで北杜市の発展には貢献せず、将来に負の遺産を残すことになります。高速道路は、北杜市には不要です。	「世界一流のハケ岳南麓からの眺望景観も保全されます」、「雄大で美しい眺望景観」、「美しい山並みの眺望は、手前の田園風景が美しいから、美しいのです。高速道路は、その手前の田園風景を壊すもので、山並み景観を台無しにします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 「この世界一流の景観が、多くの人々、観光客を呼び込み、観光業、不動産業、リゾート関連産業、建設業、運送業、農業、小売業など地域経済は、既に多くの恩恵を受けて来ています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16「地域活性化」基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 「高速道路は、騒音や振動、光害などをまき散らします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13「環境・景観」視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。
50	高速道路を作れば、地域が活性化すると信じたのは、もう昔物語です。交通の便がよくなって地域経済が活性化したところは、全国どこにもありません。過疎化を招くのが現実です。地域間の競争が激化した今では、どこも良い景観を作り、道は細くして車をゆっくり走らせる時代に入っています。それなのに、いまだにまちづくりをまち作りの柱にするようなビジョンは、時代錯誤で、残念としか言いようがありません。高速道路を作れば人が集まる、地域が活性化するという幻想から覚めてください。 中部横断自動車道をハケ岳南麓に作れば、確実に通過型観光になり、観光業は痛手を受けます。北杜市で最も重要で価値ある景観を破壊し、騒音、光害、振動による環境に悪化で、リゾート地としての魅力はなくなります。移住者も別荘も減り、不動産業、建設業も、そして小売業者、農業と地域経済が大打撃を受けるのは明らかです。 中部横断自動車道ではなく、国道141号を整備改善するほうが地元の経済にとってはよほど有益です。そして、景観と自然を生かしたまち作りを考えれば、市が進める潜在型観光圏にできると思えます。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「中部横断自動車道をハケ岳南麓に作れば、確実に通過型観光になり、観光業は痛手を受けます。北杜市で最も重要で価値ある景観を破壊し、騒音、光害、振動による環境に悪化で、リゾート地としての魅力はなくなります」、「不動産業、建設業も、そして小売業者、農業と地域経済が大打撃を受けるのは明らかです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13「環境・景観」視点③:良好な生活環境への配慮」、P16「地域活性化」基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18「観光」基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「国道141号の整備改善」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「くらし視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「景観と自然を生かしたまち作りを考えれば、市が進める潜在型観光圏」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18「観光」基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-22

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No.	内容	対応案
51	高速道路に反対 北杜市が活用検討委員会なるものをつくって率先して高速道路を造ろうとしていることが不思議でならない。 北杜市としては、高速道路ができて通過車輛ばかりになるよりも、できるだけ車が市内を通過して沿線のお店や観光施設などに立ち寄ってもら方がいいに決まっている。自然豊かな北杜市の良さを知ってもらえればもっと移住者も増えて活気のある街になる。 北杜市民は野辺山から高速に乗り、須玉や長坂から高速に乗って遠くに行けばいいので北杜市民にとって高速道路は無用の長物。 どうしても道路整備がしたいのなら141号線を国が拡幅すればいい。 なぜ北杜市が北杜市のためにならないことを率先して推進しようとするのか？	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「高速道路ができて通過車輛ばかりになるよりも、できるだけ車が市内を通過して沿線のお店や観光施設などに立ち寄ってもら方がいいに決まっている」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「自然豊かな北杜市の良さを知ってもらえればもっと移住者も増えて活気のある街になる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「141号線を国が拡幅すればいい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
53	新規の道路建設に反対です。 ○人口も交通量も減少していくのに、新規の道路は要りません。 ○ここで投じられる予定の多額の建設費は次世代へのツケになります。 ○笹子トンネルの事故を二度と繰り返さない為に、今あるインフラの整備を。 どうぞよろしくおねがいいたします。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。
54	北杜市に移住してきて15年目になり、生産活動や文化活動等を通じてこの地に住む人や来訪者ともなじみ、ハケ岳南麓地域の特性を愛する一住民として、率直なコメントをします。 1 検討の道筋・順序が違うのではないかと疑問 「中部横断自動車道活用検討委員会」という名称とその設置のタイミング(WGのBルート案採択後急という印象)からも高速道設置を前提とした唐突なまちづくり検討になっているのでは? 「意見」は高速道利用方法の確立に終わりがねない 本来なら地域づくりのビジョンが先にあって、そのためにはどうすることが必要か、あるいは妨げになるのかを検討すべきでしょう。 2南麓を横断する高速自動車道は地域の活性化にほとんど結びつかず、むしろハケ岳南麓地域の特性を損ない、マイナスに働く懸念が非常に強い。 地域活性化のカギは広い意味での「地産地消」です。一時的なブーム便りの人集め(かつての清里駅前のゴーストタウン化や〇〇の館など)とはむしろ対極にあるものです。 地域の特性を生かしながら人々の生活の営みによって生み出されるもの、知恵の結集により人々の参加を促す地域独特の継続的なイベントなど……。 ハケ岳南麓の状況を見ると、高速道は中央高速道だけで十分、後々までも大きな財政負担をもたらす高速道新設は不要。地域の活性化にプラスに働くのは国道141号の改修で足りる。 市に対しては、高齢化の現実を見据えるなら、住民や来訪者にとっては、「高速」より、取りやめになった「デマンドバス」のような「地域特化機動性」の仕組み構築支援の方が望まれるのではないのでしょうか。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「南麓を横断する高速自動車道は地域の活性化にほとんど結びつかず、むしろハケ岳南麓地域の特性を損ない、マイナスに働く懸念が非常に強い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」、P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。 「地域活性化のカギは広い意味での「地産地消」です」「地域の特性を生かしながら人々の生活の営みによって生み出されるもの、知恵の結集により人々の参加を促す地域独特の継続的なイベントなど……」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。 「国道141号の改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「デマンドバス」のような「地域特化機動性」の仕組み構築支援の方が望まれる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。

■「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-23

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

：国に対する意見

: 国・市に対する意見

No.	内容	対応案
55	私は「南麓を通す高速道路反対・141号改修を求めます」全てのコメントは、それを前提に書いています。 1. Bルート前提の活用検討委員会はおかしいです。広く住民の意見でルートを決める方が良いと思います。 2. 北杜市の人口が増えているのは、南麓地域だけです。ここの移住者や別荘所有者が何故ここに決めたのかをアンケートを取ってみてください。そうしたら南麓に高速を通すことなど出来ないはずです。 3. 1360mの高地に高速を通して冬場の安全は守れるのでしょうか。通行止や事故、保守費用もかかります。安全な高速道路を造り、それを維持管理が出来るのでしょうか？ 4. 清らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重です。高速道路開発で、それらは必ず駄目になります。高尾でも、滝が枯れることが無いと言われましたが、実際には枯れました。壊れた自然は戻りません。 5. 眺望が人工物で少しでも壊れることは絶対に許せません。人工的な植栽をしても、自然な美しさにはなりませんし、景観が分断されます。 6. 世界遺産を目指す山岳景観に道路ができては世界遺産の登録申請も出来なくなるでしょう。ハゲ岳南麓の景観を変えないで。 7. ハゲ岳山から長坂ICの間は2kmしかありません。その間にもう一つICを作るのは常識的に考えて危険です。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「1360mの高地に高速を通して冬場の安全は守れるのでしょうか」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。 「清らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。 「世界遺産を目指す山岳景観に道路ができては世界遺産の登録申請も出来なくなるでしょう。ハゲ岳南麓の景観」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。
56	8. 救急医療面が課題になっていますが、元々、山梨県側は、甲府方面に搬送しているで、問題ありません。山岳地域での救急搬送は、ドクターヘリか、救急病院を配置することが本当の解決策です。道路を造って解決する問題ではありません。 9. 長坂ICは清里への玄関口ですが、高速道路を降りて最初の信号が色褪せて賃相。北杜市の印象が悪くなり、観光客が失望します。観光都市を目指す北杜市なら、このような細かな所にも配慮し、「おもてなし」の心を表せるように、今すぐでも改善してください。 10. 清里ICを造って、観光客を増やすことを考えるなら、清里ICを造ったら、逆になります。軽井沢はICが山の中ですが、観光客は多い。ICを作っても観光客が増えないでしょう。逆に、山梨市のように、日帰り圏になって宿泊客が減ることになります。	「長坂ICは清里への玄関口ですが、高速道路を降りて最初の信号が色褪せて賃相」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「おもてなし」の心を表せるようにに関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『市民の「おもてなし」の気持ちや背景に』という文言を追記します。 「清里ICを造って、観光客を増やすことを考えるなら、清里ICを造ったら、逆になります」、「ICを作っても観光客が増えないでしょう」、「山梨市のように、日帰り圏になって宿泊客が減ることになります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。
57	中部自動車横断道建設に反対します。 自然環境に恵まれていて、それが財産ともいえる北杜市にこれ以上の高速道路はいりません。 ただでさえ、昨今のソーラーパネルによる鉄の森のはんらんて、環境破壊が進んでいます。 ここにさらに景観をこわす高速道路が加わるとなれば、北杜市が自慢できるもの、外部の人々を呼び込めるものがなくなってしまいます。 災害時の対策だとう意見もありますが、太い道路を通すだけが災害対策ではないでしょう。 きめの細かい、人の気持ちによりそった有効な対策がいろいろあるはずです。 有能な人々の知恵でそれをつみつけてください。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「自然環境に恵まれていて、それが財産ともいえる北杜市」、「昨今のソーラーパネルによる鉄の森のはんらんて、環境破壊が進んでいます」、「景観をこわす高速道路が加わるとなれば、北杜市が自慢できるもの、外部の人々を呼び込めるものがなくなってしまう」とに関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 「太い道路を通すだけが災害対策ではないでしょう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。
58	私は高速道路建設に反対です。 今は修復の時代です。 何でもかんでもぼんぼん新しいものをつくるのではなく、今までのものを直し、改善していくのが望ましいと思います。 特にこの高速道路は地元の人たちにはなんのメリットもなく、デメリットの方が大です。 人口がどんどん減っていく中、子供達の手で借金をしてまで造るものなのかもう一度ご検討を願います。 R141の改善整備で充分です。 これが「善い案」だと思います。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「R141の改善整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P5くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
59	僕は高速道路はいらないと思います。 人口が減って、車の数も減っていくのにどうして新しい道路が必要なんですか？ R141を改善整備をしたほうが余計な税金を使うこともないし、1番いいと思います。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「R141を改善整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P5くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-24

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No	内容	対応案
59	新しく高速道路を建設するのではなく、R141を修繕整備した方がいいと思います。税金を少なく抑えられることもそうですし、環境破壊も少なく抑えられるからです。よろしくお願いします。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中、「R141を修繕整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「環境破壊」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。
60	どうか大切な税金を(あまり必要とされていない)高速道路に注ぐのは止めて下さい。 人口が減少していく中、子供達の数も減っていくでしょう。 その少ない子供達にこの税金を押し付けるのは如何なものでしょうか？ R141の修繕整備をしていただければ充分だと思います。 よろしくお願いします。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「R141の修繕整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
61	この高速道路は私たちはほとんど利用しないと思われます。 美しい自然を破壊してまで建設する理由が分かりません。 もちろん建設するには膨大な税金も使用されます。 R141の改善整備で充分役割を果たしてくれたいと思います。 私もそれが一番嬉しいです。 R141はよく利用していますので助かります。 どうぞよろしくお願いします。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いた意見の中で、「美しい自然を破壊してまで建設」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。 「R141の改善整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
62	こんにちは 北杜市に在住の*と申します。 中部横断道路ですが、はっきりと反対を表明します。 少なくとも、当該市民にとって、中部横断道路は不要です、何より高速道路の存在そのものが、このハケ岳地域の最大の環境破壊です。 是非R141の整備の方向で検討してください。 北杜市にとっての最良の道は、高速道路ではなく、これだと思えます。 以上、よろしくお願いします。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いた意見の中で、「高速道路の存在そのものが、このハケ岳地域の最大の環境破壊」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。 「R141の整備の方向」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
63	地域の活性化を考えた場合、中部横断自動車道は無用の長物で明確に反対です。 山梨県北杜市においても他の地方都市同様、高齢化と過疎化が問題となっております。 この世界的な問題に対し、「機能的なコンパクトシティ」構想が最も有効な手法と考えます。 近隣への移動には自転車を利用、それと同時に外出をより安全で簡単に移動する手段として超小型モビリティが利用出来れば高齢者も活動的な生活を送ることが出来ます。 しかし北杜市においても地方の道路に多いことですが道路の道幅が狭いので自転車どころか歩行者が安全に通れる道幅すら無いのが現状です。 高齢者の交通事故が懸念される中、財政面で歩道を確保することすら困難な状況です。 但し、山梨県北杜市におきましては他の地方都市とは異なる面が2つあります。 1つ目は首都圏近県と良好な自然環境の理由から都市部の現役を引退された方々が多く移住されていること、2つ目はハケ岳南麓の雄大な景観を目標に多くの観光客が来訪、中でもサイクリングイベント(グランフォンドハケ岳)は毎年3,000名の参加があります。 しかし上記の問題点として、都市部からの移住者は道幅が狭く歩行者に注意しなければいけない運転に辟易しており、サイクリングイベントにおいては住民の生活道路を使用しているので参加者と住民との間で軋轢が生じていることです。 上記の問題点を解決する方法として歩道及び自転車道の整備が挙げられます。 この道路整備はインフラ対応だけではなく、地域の活性化に有効な投資と位置付けられます。 具体的には南北道路(国道141、県道28号)、東西道路(県道32、608号、レインボーライン)を整備することにより、移住者及びサイクリング愛好家と付随する観光客の誘致による過疎化対策、更に自転車道及び自転車道の若干の拡張により超小型モビリティ専用道路による高齢者の活動的な生活は高齢化対策のモデルになる可能性を秘めております。 北杜市におかれましては「高速道路」という時代遅れの政策ではなく、「機能的なコンパクトシティ」という先進的な構想にて「まちづくりビジョン」を進行していただるよう切に願っております。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いた意見の中で、「良好な自然環境」、「ハケ岳南麓の雄大な景観を目標に多くの観光客が来訪、中でもサイクリングイベント(グランフォンドハケ岳)は毎年3,000名の参加があります」、「サイクリング愛好家と付随する観光客の誘致による過疎化対策」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参ります。 「北杜市においても地方の道路に多いことですが道路の道幅が狭いので自転車どころか歩行者が安全に通れる道幅すら無い」、「歩道及び自転車道の整備」、「南北道路(国道141、県道28号)、東西道路(県道32、608号、レインボーライン)を整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」、P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。

■「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-25

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

:国に対する意見

:国・市に対する意見

No.	内容	対応案
64	中部横断道新ルートの経過について (新ルート上に生活をしているものとして憤りをもってコメントをします) ①新ルートはいつ計画されたのか？ 旧清里有料道路ルートが見直すことになったのが一昨年10月4日の小委員会でした。そして1か月後の11月21日に同じ小委員会で新ルートが提案されました。 いったいどのような調査をして新ルートA/B案を作ったのでしょうか。建設地域に多大な影響を与える高速道路のルートがこのように安易に作られて良いものでしょうか。清里から長坂まで地図上に線を引きただけのものと思われます。ルート上にどのような人たちがどのように生活を営んでいるのかということは一切考慮をしないで作られた中部横断道新ルートと変わらざるを得ません。 ②A/B案という巧みな国交省のカラクリ 昨年6月に＊ ＊ ＊ ＊ ＊がB案が妥当と提案し、それを受ける形で小委員会ワーキンググループがB案が妥当と答えました。このワーキンググループのミッションはA案かB案のどちらかを決めるだけのものでした。そしてあたかもB案が決まったかのように北州市では活性化検討委員会が立ち上がりました。 考えてみてください。これまでも中部横断道新ルートが総合的に検討された形跡はありません。総合的にというのは自然環境への負荷、地域住民へのダメージ、そして建設費用等々、多岐にわたります。 ③中部横断自動車道活用検討委員会の立ち上げ 昨年6月にだされたワーキンググループの付帯事項に「継続して地元住民の意見を聞く仕組みづくりを構築すること」とありました。この付帯事項を満たすために活用検討委員会が作られました。しかし、新ルートB案が前提の活用検討委員会は存在そのものが新ルートB案の既成事実化を進めるものでしかありませんでした。まちづくりという地域住民にとって基本的な問題を高速道路を作るためにデッチ上げるということはあってはならないことです。 ④まちづくりビジョンの基本理念 地域を『つなぐ』。地域を『支える』。地域に『なじむ』。地域との『協働』による北社のまちづくり・みちづくり 地元説明会でも明らかにようになったように新ルートでの中部横断道はハク岳南麓に生活している人たちに大きな亀裂を作っています。中部横断道を推進している人たちが静かな生活を求めて都会から移り住んでいる人たちの間で賛否が分かれるのは当然の成り行きです。日常的に意思疎通の少ない状態で賛成、反対が叫ばれれば悪い感情が作られてしまいます。この北州市の地域問題に市当局は何の解決策をとっていません。まちづくりビジョンの基本理念と地域の実情との目も眩むほどの乖離は大きな問題を孕んでいると言わざるを得ません。	頂いたご意見の主旨は『北州市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。
65	中部横断自動車道を見据えた北州市まちづくりビジョン案に対するパブリックコメントを提出します。 ハク岳南麓を横断する高速道路(長坂〜八千穂間)の建設に反対します。 先ず現在B案にまだ決定していないのに、このパブリックコメントの実施は、B案に決まったという印象を与えようという意味では作為的なやり方と受け取ります。このような姑息的なやり方に憤りを感じています。 私なりの反対理由を下記に記します。 1. 環境を破壊せずに工事はできない。 この高速道路によってハク岳南麓の自然環境を維持することはできず、必ず悪化します。これはすべての人が認める所です。この高速道路を作れば現在のハク岳の景観を破壊し観光客は更に減ります。しかもどんなに道路工事を環境配慮したとしても、環境を破壊せずには道路を作る事は不可能です。 2. 農業の活性化ができるか？ 北州市にはすでに中央高速道路があります。過去何十年にもわたってこれを農業の活性化に利用することは出来ませんでした。今更新しい高速道路が出来ても農業の状況は変わらないという事です。 3. 観光客の倍増に繋げられるか？ かつて清里が観光という面で大変有名になり、多くの観光客が押し寄せましたが、その後の観光客の激減に対して中央高速道路を有効に利用する事が出来ませんでした。今更新しい高速道路を作っても観光客を増加させる手だては期待出来ません。観光振興の為には高速道路ではなく北州市行政と地元住民の取り組み姿勢が問題なのです。 4. 北州市医療拠点の欠如 北州市には住民が安心してかかれる拠点となる医療機関が無い事が最も大きな問題で、現在も住民の多くは北州市以外の医療機関にお世話になっています。北州市に拠点医療機関が無い状況の中で、新しい高速道路によってもこの問題を解決することは出来ません。中部横断自動車道によって山梨中央病院などへのアクセスが良くなると言うのは本末転倒です。そのような場合でも中央高速を使うことで何も問題はありません。高速道路を建設する為の自治体負担を抱えるくらいなら、住民のための拠点医療機関を作る方が遥かに住民の為になることは明白です。または山梨県各市と比較しても福祉行政の貧困さの為多くの人の認める所です。今後益々高齢化が進む中、少なくとも県内へ移れるような福祉が充実している市というイメージ作りにはお金を使う方が住民の願う所です。 5. 国道141号線と住民生活 国道141号線は北州市の住民にとっても、北州市周辺の住民にとっても大変重要な道路である事は誰もが認めるところで、しかしこの道路は現在狭い所、曲がりくねった所などがあり、生活道路としての機能が十分ではありません。安心して住める町、住みたくなる町、住み続けたい町とするためには、生活道路としての機能を十分にする事が最も重要であるべきです。従って国道141号線を生活道路および周辺地域との交通の主要道路と位置づけて(現在もそのような位置付けですが)そのための整備をする事が現在最も必要とされている事ですが、これに関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらい「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせて頂きます。	頂いたご意見の主旨は『北州市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「ハク岳南麓の自然環境を維持することはできず、必ず悪化します」、「高速道路を作れば現在のハク岳の景観を破壊し観光客は更に減ります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 「今更新しい高速道路が出来ても農業の状況は変わらない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。 「今更新しい高速道路を作っても観光客を増加させる手だては期待出来ません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出開閉口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「北州市には住民が安心してかかれる拠点となる医療機関が無い事が最も大きな問題で、現在も住民の多くは北州市以外の医療機関にお世話になっています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「基本方針:安全・安心で快適なくらしのために」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-26

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

:国に対する意見

:国・市に対する意見

No.	内容	対応案
68	私運夫婦は家族で、主に都会からの観光客や移住者の方々にお客様としてご来店頂き、パン屋を営業しています。営業を始めて10年が過ぎましたが、この十年で多くの住宅や、店舗が増え、このハヶ岳南麓の素晴らしい環境と景観が多くの人々を魅了しているのだと実感しています。昨年11月21日に国土交通省の突然の発表で、私運の住居と店舗が中部横断自動車道の新ルート沿線に入ってしまうました。以前より、国土交通省が中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画段階評価のための住民アンケートを行っていましたので、この素晴らしいハヶ岳南麓を横断する高速道路に反対する署名活動にも参加し、北杜市内で最も支持率が多かった国道141号線の改良案を再検討するよう、国土交通省に働きかけていましたが、再びハヶ岳南麓を横断する新ルートを提案してきた事には大変強い憤りと怒りを感じています。北杜市においても、再三にわたり住民の意見を聞く場所を設定するよう、住民グループからの要請(北杜市議会への請願も行いました)を行ってきましたが、全く聞き入れられず無視し今回の活用検討委員会の設置に続きパブリックコメントの実施が始まってしまった事は残念でなりません。下記に私運が考える中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョンに関する疑問を提示させていただきますので、検討の一助として頂ければ幸いです。 ①そもそもこの中部横断自動車道(長坂～八千穂)は現在計画段階評価中であり、事業化が決定したわけではありませんが、昨年行われた国交省主催の地元説明会の様子でもわかるように多くの住民の反対意見や疑問・疑念を何ら解消する事無く、北杜市自らが半ば高速道路建設を既成事実化するような「活用検討委員会の設置」や「パブリックコメントの実施」を行う事は、民意を無視する行為であり、行政の末端機関である北杜市の役割を軽視しているのではないのでしょうか。高速道路賛成でも反対でも、皆が多様な意見を出せる場所の提供をするのが行政の役割だと思いますがいかがでしょうか。 ②■まちづくりビジョンの検討の流れと策定経緯の中で、検討委員会は学識経験者、地域の代表、〇〇から構成されている…とありますが、たまたまその年度に地区の区長となった方が委任されたもので、高速道路についての知識はほとんどない方がどの程度の意見が言えるのでしょうか。また、これらの方がどの様な方法で地域住民の意見をまとめるのか、まとめ切れなかった場合はどの様にされるのか、地区長個人の意見と地域住民の意見は明確に分けて頂く事と、まとめきれない場合はその旨正直に報告して頂きたい旨、徹底して下さいますようお願いいたします。行政区に入らない住民の意見はどの様にされるのか、また別荘所有者へのパブリックコメント募集の周知徹底はなされているのか、周知が難しいこのような冬の期間にパブリックコメントの募集をしなくても、別荘所有者が滞っている夏期に行うべきではないのか…と考えますがいかがでしょうか。 ③まちづくりビジョンを達成するための道路プランについて中部横断自動車道のルート・構造を検討するための配慮事項 例)自然環境・景観へ配慮する のり面等への植栽の実施や盛土や緩衝帯への植栽 等とありますが、人工的な建造物は植物で覆えないように工夫すれば(美しい物には蓋をする)自然環境・景観に配慮した事になるのですか? 発想が貧困ではないのでしょうか。多くの住民が危惧している環境・景観はこの素晴らしい自然を根本的に守りたいのであって、見えなければいいというレベルの話ではありません。高速道路がハヶ岳南麓を横断すれば、多くの森林が伐採され、湧水が枯れてしまうかも知れません。北杜市でも貴重な農地(水田)は多くの税金をかけて園地整備をしていますが、農地は減少し、そこにまた新たに税金を使って道路を作るのです。日本の人口は減少傾向にあります。また、日本の国の借金も1000兆円、国民一人当たり700万円もあると言われています。そんな状況でまだ道路がほしいのでしょうか。借金が無くなって、人口が増えてからやってもいいのではないですか? 足るを知る、日本の素晴らしい言葉です。ルート・構造を検討できるのであれば、多くの住民が自由に使える、脆弱だと心配されている国道141号の改修を行えば、二重投資も避けられます。国交省も「ミッシングリンク解消のため、一部国道を活用して早期に完成させる事が災害対策になる」と言っています。また、(平成25年度内にまちづくりビジョン取りまとめ)となっていて、後2カ月足らずでまとめるのは早すぎるのではないですか? もっと多くの住民の多様な意見を出してもらえよう、北杜市が努力するべきだと思いますがいかがでしょうか? ④「まちづくり計画」概要の土地利用の方向で田園集落ゾーンは美しい農村風景と豊かな田園環境を保全しつつ、地域農業の振興、集落コミュニティの維持を図り、安定した農村環境の維持・継承を進める。と書いてありますが、このゾーンは正しく新ルート上で、「まちづくりビジョン」との整合性が図れないと思いますがどうされるのでしょうか。北杜市民の意見は、北杜市が国土交通省に向けて提案や請願をして下されば、国土交通省も無視できません。是非、ルートの検討に関しても北杜市民の民意が反映されるよう、国土交通省へ積極的な働きかけをお願いいたします。 ⑤まちづくりビジョンにおける理念について、その検討に先立つ意見の把握を行った、として主なご意見を4ページにわたり掲載され、高速道路整備に対する反対意見や懸念も多数掲載されています。しかしながら「基本理念」地域をつなぐ、地域を「支える」、地域に「なじむ」、地域との「協働」による北杜のまちづくり・みちづくりには、そのような懸念は反映することはできません。なぜなら、ハヶ岳南麓を横断する高速道路では、北杜市の素晴らしい景観や環境を破壊してしまいます。観光・生活環境・農業振興等のダメージを与えるこの計画そのものを見直さなければ、(基本理念)を実現することは不可能だと思います。 ⑥まちづくりビジョンの基本方針・視点については 1. 環境・景観:大型の人工構造物をいくら植物で覆っても、自然は守れませんし、生活環境も悪化します。 2. 暮らし:すでに十分暮らしやすい環境なので、移住者も増加しています。都会のような24時間便利な暮らしを求めて、移住してくるわけではありません。良好な生活環境と高速道路は共存不可能です。 3. 地域活性化:長坂町・大泉町は北杜市でも人口が増加していますし、多くの若者がお店をオープンさせたり、新規就農を志して移住しています。この自然環境を保全・活用することが地域活性化への近道です。 4. 観光:北杜市の魅力である自然環境を充実させなければ、観光は促進しない。高速道路が南麓を横切れば景色を見ながら通過するだけ。北杜市へのアクセスは中央道で十分です。 以上、中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)に関する私運の意見です。北杜市は高速道路の推進をしていますが、国策とはいえ、人口減少や国の財務状況により、前線高速道路整備ではなく、一部国道の活用でも高速道路整備とみなされます。地域主権を発揮して、当事者である北杜市も、ルートや構造について積極的に発言し住民の多様な意見を反映させて、まちづくり・まちづくりを検討して頂きます様切にお願いいたします。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「ハヶ岳南麓の素晴らしい環境と景観が多くの人々を魅了している」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。 「国道141号の改良」、「脆弱だと心配されている国道141号の改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②:暮らしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「地区長個人の意見と地域住民の意見は明確に分けて頂く事」に関しては、まちづくりビジョンの検討・意見集約を進めるなかでは、地区長意見と、地域住民の意見(パブリックコメント)は分けて整理しております。 「高速道路がハヶ岳南麓を横断すれば、多くの森林が伐採され、湧水が枯れてしまうかも知れません。北杜市でも貴重な地(水田)は多くの税金をかけて園地整備をしています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。 「まちづくり計画」概要の土地利用の方向で田園集落ゾーンは美しい農村風景と豊かな田園環境を保全しつつ、地域農業の振興、集落コミュニティの維持を図り、安定した農村環境の維持・継承を進める。」「まちづくりビジョン」との整合性が図れない」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。 「ハヶ岳南麓を横断する高速道路では、北杜市の素晴らしい景観や環境を破壊してしまふ」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 「多くの若者がお店をオープンさせたり、新規就農を志して移住」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に「ハヶ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進」という文言を追加します。 「自然環境を保全・活用することが地域活性化への近道です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 「北杜市の魅力である自然環境を充実させなければ、観光は促進しない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-27

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No	内容	対応案
87	結論は「中部横断自動車道建設は、私を含め北杜市民の民意を踏みにじるもので反対。国道141号線の改良を前提に、北杜市まちづくりを推進してください」ということです。 ①表題にある「を見据えた」の「見据えた」とは、一体、だれが、いつ、どのような権限を根拠に、まるで既成事実であるかのように決めたのでしょうか。北杜市民の民意で「～を見据ええた」事実はありませんから、この表題は削除願います。民主的な手続きを経て方向づけされたものではなく撤回を求めます。 ②もし、このような表題を掲げたいのであれば、北杜市主催で、北杜市民に対し、中部横断自動車道の建設の是非を問うべきです。その際には、北杜市民と同時に、今回のパブコメ回答の有資格者である、市内別荘所有者も含めなければ、公正さが担保されないことは言うまでもありません。 ③北杜市まちづくりビジョンが謳う『地域を『つなぐ』、地域を『支える』、地域に『なじむ』、地域との『協働』による北杜市のまちづくり、みちづくりという方向は適切ですが、これを実現する方法論には、複数あります。 北杜市民が最も支持しているのが、国道141号線の改良であることが、すでに明らかになっているので、その民意を尊重して、まちづくりビジョンを検討する責任が北杜市にはありますね。そのことを重く受け止めて下さい。 そもそも、2012年1～2月に国交省が行った、中部横断道に関する第2回アンケート調査については、回答数が北杜市より、南佐久・佐久市の方が多くなるように、調査票の配布数を意図的に偏らせたり、理解しがたい集計方法がとられた事実は、今や多くの北杜市民が知るところです。 このような国交省関東地方整備局の作為的な、誘導的な集計(同関東地方整備局審議会の関東地方小委員会委員自身までが「このような集計方法は世間一般では見られない」と2012年4月の小委員会で批判)議事録を調べて下さいによって、高速道路建設が民意であるかのような偽装工作がとられていることは、北杜市自身も認識していないわけではないでしょう。 この調査は①案「全区間で新たな(高速)道路を整備」②旧清里有料道路の一部利用③国道141号の改良④整備なしーからの4択でした。北杜市WEB経由での回答数によれば、141号改良の③案支持が80%と最多でした。国交省の資料にもこの記述は残っていますよね。「北杜市民の大半が、高速道路建設を望んでおらず、141号線の改修を希望している事実」は証明済みなのです。議論の余地はないでしょう。違いますか。よって、141号線の改良をすべきである、という結論が導き出されます。 もし、このことを北杜市が受け入れられないのであれば、市はまず、この結果について合理性のある説明を市民に対して行う責任があります。 ④中部横断自動車道は、国道141号線改良と比較すると欠点・欠陥・デメリットが多すぎることで、建設すべきではありません。そもそも、市民が望んでいないものは建設する合理性がありません。 もし、公共事業の拡大で景気浮揚を狙うのなら、老朽化が激しい既存の高速道路や陸橋、高架橋の改修等に充てるべきで、その意味で、新規高速道路建設の優先順位は極めて低いわけです。高速道路の欠点を以下に挙げてみます。 ●そもそも総工費が2300億円と見積もられる中部横断自動車道に経済合理性があるのか、という根本的な問題があります。その判断材料である需要予測も国は一切、出さそうとします。国が示さないのであれば、北杜市が独自調査し、北杜市民に説明する責任がありますが、そのような議論さえもありません。1000兆円を超える財政赤字がある中で、建設後に、「できてみたら赤字路線でした」となどというようなことは絶対に許されたくては、この数値が示されないこと自体、不採算路線であることの証左でありましょう。 ●地域経済へのダメージが予想されること。新幹線建設で、駅間のエリアの経済や観光が衰退している実例と同様、高速道路を建設し、清里周辺にICを作れば、長坂一清里間のエリアは、国道141号線沿道の商業施設を含め、衰退するだろうことが、容易に推測されます。また、現状のように141号利用のままであれば、大泉エリア経由で清里観光と、いう、観光客の流れが維持されるが、高速ができれば、大泉エリアはスルーパスされ、新幹線駅間エリアと同様の悲劇が予想されます。そうなったら、だれが責任を取るんですか？ 大泉は全国的な地方経済の低迷、人口の都市集中化の流れの中で、孤軍奮闘し、ハケ岳南麓の観光資源を武器に人口増を実現してきました。にもかかわらず、高速道路がで、スルーパス現象」が起れば、奇跡的な人口増は、人口減に転じ、大泉衰退を促しかねません。大泉エリアのペンション、ホテル、飲食店、観光施設などの観光産業が打撃を受ければ、それが、地域の建築業、別荘・リゾート物件販売などの不動産業、運輸サービス等にも波及し、地域経済全体に深刻な影響が出るでしょう。こうなった場合、***は責任が取れますか？ 辞任どころじゃ済まされません。 ●高速道路の建設は、希少動物が生息し、最大の観光資源である「ハケ岳の自然生態系」や「ハケ岳の景観」を破壊するばかりか、その影響は、豊富な湧水の水源へのダメージ、野辺山に代表される国内有数の星空を光害によって毀損するなど、環境保全の観点から見れば、デメリットのオンパレード。また、自然生態系の破壊は、すなわち、観光資源としての価値の毀損となり、観光産業、地域経済の破壊にもつながる致命的な欠陥となっています。 高速道路建設に際しては「環境に配慮」などと耳触りのいい表現をしていますが、どのような環境配慮をしようか、自然環境に大きなダメージを与えざるをえないことは、自明の理。 「自然破壊=地域経済の破壊」という現実を、素直に認めるべきで、もし、北杜市が認めないとしても、北杜市は、少なくとも、「北杜市まちづくりビジョン」の策定プロセスで、このような議論を、公開の場で正々堂々と戦わねばなりません。それが民主的な地方自治なのですから。 ●高速道路建設による森林伐採や自動車排気ガスの増加は、地球温暖化を促す二酸化炭素(CO2)増加を促し、国策に反すると同時に、ハケ岳の大気汚染源になりかねません。 ⑤高速道路建設に関する課題解決として、国交省は5つの提案を、2011年2～3月に同省が行ったアンケート調査で掲げました。北杜市民(回答数2853)は、これらすべての提案に「否定的な意見」を表明していますね。北杜市は一体なぜ、この事実を「まるでなかったかのように」踏みにじるのでしょうか。本来なら、こうした民意を重く受け止めたうえで、北杜市まちづくりビジョンを検討すべきです。①とも関連しますが、「中部横断自動車道を見据えた」という枕詞は、北杜市民の民意を踏みにじる、北杜市に対する背信行為であると言われても、反論、説明できないのではないですか？	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号線の改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「くらし」視点②:くらしやすさの向上に基づき、取り組んで参ります。 「高速道路を建設し、清里周辺にICを作れば、長坂一清里間のエリアは、国道141号線沿道の商業施設を含め、衰退するだろう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「希少動物が生息し、最大の観光資源である「ハケ岳の自然生態系」や「ハケ岳の景観」を破壊するばかりか、その影響は、豊富な湧水の水源へのダメージ、野辺山に代表される国内有数の星空を光害によって毀損する」、「森林伐採や自動車排気ガスの増加」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」、環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-28

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

:国に対する意見

:国・市に対する意見

No.	内容	対応案
	以下は5つの提案と「否定的」と答えた人の%です(残りは肯定的)。 ①地域生産品の自動車輸送に時間がかかる59% ②救急医療施設への救急車搬送に時間がかかる56% ③主要観光地間の連携が不足59% ④買い物、通勤など日常生活の移動が不便67% ⑤国道141号線の走行性・安全性が不足51% それでも、高速道路建設が北杜市民の民意だと強弁しますか？ 誠心誠意、誠実に地方自治を司って下さい。 ⑥最後に一解決のアプローチです。国土交通省が高速道路などの事業構想段階から地域住民の民意を反映させるため、住民への情報開示と住民参画を柱とするPI(パブリックインボルブメント)という政策を推進しています。これは、高速道路網をメッシュ状に全国に張り巡らす、国交省の悲願である「ミッシングリンク」とは、実は真向矛盾する政策ですが、北杜市民が望んでいるのは、まさに、このPIによる、住民参加型の民主的な道づくりであり、そして、それを基盤とした「北杜市のまちづくり」なのです。 従来の高速道路建設は、国交省の内部で建設意思決定をし、それに都道府県や沿線の市町村が乗っかり、沿線住民には技術的な論議を説明するだけにとどめ、強引に建設してしまう手法でした。しかし、今は、広域社会資本の整備に対する国民や地域住民の意識は多様化しており、従来の前近代的で、利益誘導型の公共事業推進の在り方はもはや時代遅れです。公開の場で、公正な議論の下に、その社会資本で便益を受ける住民、市民が自ら意思決定し、それを国へ伝えていく。それがこれからの地方分権、中央から地方へ、地方自治の方向、未来ではありませんか。 ****、*****の皆様には、目を覚ましていただきたい。北杜市民とともに北杜市の市政を、北杜市民の、北杜市民による、北杜市民のための自治に変えていきませんか。文中、厳しい言い回しもしましたが、これも健全な北杜市政を願うの気持ちから、それ以上、それ以下でもないことをお断りしておきます。 長くなりましたが、以上が、私のパブリックコメントです。 以上	
68	将来(子どもたち)に残すべきものは、豊かな自然であって、建設による多額の借金や維持費ではないと思います。 現在の141号線の交通量を考えても、リスクが大きすぎる、建設は必要ない、と感じます。 子どもたちに負の遺産を残して、私は先に死んでいく、そんな無責任なことではできません。 中部横断道建設には反対です！	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「将来(子どもたち)に残すべきものは、豊かな自然」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針：多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。
72	中部自動車横断道が高速という形で、北杜市内に建設されることには賛成できません。なぜなら全国民の命を守るためには、この財政困難の中、老朽インフラの改修工事が第一に早急に取り行われなければならない、新しい高速道路を作る時代は、もう終わったことを認めないわけにはいかない。 笹子トンネル事故は、警鐘です。9人の方が亡くなったのですよ。 この先、老朽インフラの改修工事費用は、数百億円、数千億円に膨らんでいくと専門家は言っている。 どれだけの老朽化した橋やトンネルが、山梨県内にあるのか、県や市は把握しているのだろうか？ そして、将来どれだけの老朽インフラ対策の費用がかかるのか、具体的な数字を計算できているのだろうか？ 新しい高速道路の計算をする前に、公務員として、国民の命を守る為に、「老朽インフラ整備」の為に予算計画を至急行して下さい！！ また北杜市民の命を守るためには、新しい高速道路を作るのではなく、国道141号線の改修工事を至急開始していただきたいのです。 国交省の**さんとも意見交換会でおっしゃっておりましたが、国道141号線には、崩落などの危険な箇所がいくつもあります。 どうかお願いです。国道141号線を安全な道路にして下さい。 そして「141号線をバイパス化して、中部横断自動車道として利用すること」がベストだと思います。 この先、北杜市の高齢化はますます激しくなり、少子化が進む。 これ以上、子供達に負の借金を負わせないでいただきたい。 高速道路により、観光や環境の疲弊が進めば、子供達は将来北杜市には住めなくなるであろう。 そうしたら、北杜市の人口も減少し、税収も激減し、北杜市が自己破産する可能性も出てくる。夕張市の二の舞にならないでいただきたい。 本当に北杜市の健全な存続を望むならば、八ヶ岳南麓に高速道路を建設するなどという自滅的な計画は立てられないはずである。 北杜市の「健全なまちづくり」の為に、新しい高速道路は不要であると断言できる。 高速道路ができた、北杜市は現在のような健全さはますます失われるであろう。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号線の改修工事」、「国道141号線には、崩落などの危険な箇所がいくつもあります」、「国道141号線を安全な道路」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②：くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「高速道路により、観光や環境の疲弊が進めば」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針：多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-29

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No	内容	対応案
73	◎意見書 中部横断自動車道(長坂～八千穂)の建設について、Bルート案建設ではなく国道141号線の改良が最善策と思います。 その理由は、 ①建設費を減らし、道路の維持管理費、保全費などに税金を省いて欲しいです。 現在、日本は世界一の借金大国です。その借金を返済するのではなく、さらに借金を増やし新しい道路を建設することを望みません。少子高齢化によって税収減であり、今後さらにドライバーも減少します。 ②清里方面から重度患者を甲府救命センターへ搬送する場合、国道141号線の改良道路を利用することが最も速いです。これこそ「命の道」ではないでしょうか。また、「太平洋が見たい! 君は日本海が見たいか?」と発言する方がいるようですが、現存の長野自動車道を利用してもさほど時間差はありません。 ③環境、景観破壊です。 一度失われた自然と景観を元に戻すのは、莫大な資金と時間と努力が必要です。観光の目玉である自然と景観は、私達の財産です。この美しい自然と景観を維持し次世代へ継承しなければならないと思います。 Bルート案上に、****の****とその兄弟の土地、****の****とその親族の土地、中部横断自動車道活用検討委員長の****とその兄弟の土地が存在します。付け加え、その活用検討委員会の主要メンバーの土地が存在することは、とても問題です。 以上の理由により、国道141号の改良が最善策と思います。 平成26年1月29日	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、「国道141号線の改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②」：くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「観光の目玉である自然と景観は、私達の財産です。この美しい自然と景観を維持し次世代へ継承しなければならないと思います。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針：多様な自然・環境・景観とともに」、P13環境・景観「視点②」：優れた山岳景観と農村景観の保全」に位置づけられています。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「ルート案上に、****の****とその兄弟の土地、****の****とその親族の土地、中部横断自動車道活用検討委員長の****とその兄弟の土地が存在します。付け加え、その活用検討委員会の主要メンバーの土地が存在することは、とても問題です」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。
75	中部横断自動車道活用検討委員会御中 中部横断自動車道活用検討委員会は、道に反対する沿線住民の会の話では、B案前提の委員会と聞きましたが、本当に市にとって必要な道なのかを初めに委員会で討議するべきだと思います。 発足の経緯は詳しくは知りませんが、国土交通省より第3回の附帯事項を満足させたいので****に働きかけ発足したのだと思います。 これは高速道路ありきの発想だと思います。根本に立ち返るべきです。 何故道は必要なのか? 県や市で国土交通省と建設を推進する方の近頃の行動を見て下さい。 ****と****はともに住民の反対運動を無視して明野処分場を推進して県民に55億円の負債を負わせて説明責任も満足にこなせない人々たちです。 ****はこのB案を推進するため一部の職員と話し合い、議会に回ることもせず市の総意として国土交通省にB案を提言しています。市民を裏切る行為です。この様に市民を、裏切る****を信頼できますか? これらの行いは自分の土地にルートを誘致しているのではないかと誤解をされても仕方がない行動です。(株ならインサイダー取引のような?) ****は市民に対して住民説明会を開いたことは一度もありません。(****さんに対しては1回説明会を開いている。)このことは住民無視の****だとそしりを受けても仕方がないことです。 私は市議会の傍聴をたびたび観に行きましたが、****の「海が見たい…」という念仏の様な発言をたびたび聞きました。****が海を見たいために長坂～八千穂が造られるのかと思うと悲しくなります。 北杜市民は早く海が見たいのか? もしこれが事実ならば双葉から静岡側だけ建設すれば太平洋は近くなるので長坂～八千穂は必要ありません。日本海へは造られても時間的には変わりません。 色々書きましたが、中部横断自動車道(長坂～八千穂)が本当に必要不可欠な道なのかを、B案前提の中部横断自動車道活用検討委員会を改め、中部横断自動車道(長坂～八千穂)が必要なのかを審議して頂く委員会としてください。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「自分の土地にルートを誘致しているのではないかと誤解をされても仕方がない行動」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。

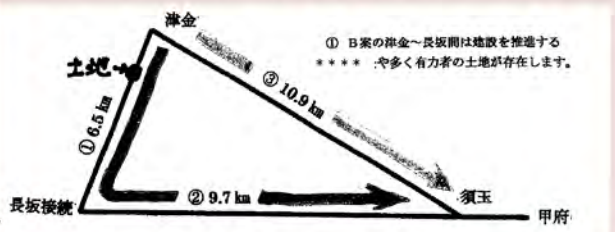
「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-30

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No	内容	対応案
76	中部横断自動車道活用検討委員会 御中 パブリックコメントとして提出します。 なぜ中部横断自動車道(長坂～八千穂)は長坂接続なのか？ 早く海が見れるのは、須玉もしくは双葉接続です。 ルート案の中に*****さんと兄弟、*****さんと親族、活用委員会*****と兄弟の土地が有ることが判明いたしました。 広さなんと約43,908坪(国土交通省線引きによる住宅地等に確認し、登記簿も確認済み)これらのルート内の土地を皆様はどの様に考えますか？ *****は北杜市議会にも固らず一部の職員と相談し、あたかも市民全体の意見として国土交通省に提言しています。(証録録音有)又、*****が主催する中部横断自動車道活用検討委員会の主要メンバーはルート案内に膨大な土地を所有。これを皆様はどの様に考えますか？ ・ルート図と*****、*****の土地の位置  ・双葉、須玉接続ではなぜだめなのか？ ●に関係しているのか？ (双葉、須玉なら東京へのアクセス良好) この公人土地問題を国土交通大臣や関係に内容証明で回答を求めましたが未だに回答がありません。答えられないなら白紙撤回するべきです。 ルート内、町別土地の集計詳細(法務局で登記確認済みです。) *****5,346㎡(約1,620坪)高根町堤 *****22,666㎡(約6,868坪)高根町堤 *****47,321㎡(約14,339坪)高根町堤 *****51,613㎡(約15,640坪)須玉町神津金 *****12,122㎡(約3,673坪)高根町清 2,823㎡(約855坪)高根町浅川 *****3,008㎡(約911坪)高根、長坂町 計144,899㎡(約43,908坪) 長坂接続の途中に存在する高根町堤の*****と*****、*****と*****の土地(計23,740坪)が、ジャンクションが長坂でなければならない理由 なのではないのか？ 違うのであれば公平性確保のためにもBルート(案)の白紙撤回を国土交通省に進言してください。 なぜルート内に土地を持つ委員は新聞記事に成っても許任しないのか？ 公平性確保のためにも許任するべきだと思います。 市民代表も行政の末端の区長でなく公募で選ぶべきです。 ●本当にこの道は命の道なのか？ *****は海を早く見たいのか？ 明野処分場問題の*****も*****も中部横断自動車道(長坂～八千穂)を命の道と言うが事実なのか？ 北杜市消防で重度の患者を搬送するのは甲府の救命救急センターとのこと。 仮に接続点を須玉とした場合B案ルートがカーブする津金から直線で109km③。今のB案ルートでは長坂接続まで6.5km①、長坂接続から須玉まで9.7km②、①+②=162km須玉 接続の場合と比べると長坂接続では5.3km甲府は遠くなります。時速60キロで走行した場合は、時間にして5分18秒時間がかかります。 脳細胞は心停止からわずか3分で死に始めます。5分18秒は命を落とす時間にもなるのです。今のBルートは命に厳しいルートです。 当然海も遠くなります。太平洋を近くするのは静岡側だけ建設すればよく、日本海へは長野道でも中部横断(長坂～八千穂)ルートでも時間は変わりません。 	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見 です。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、 地域の代表者や地域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構 成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっ ています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複 数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくことになりま す。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審 議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホーム ページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「ルート案の中に*****さんと兄弟、*****さん さんと親族、活用委員会*****と兄弟の土地が有ることが判明いたしました」、「中 部横断自動車道活用検討委員会の主要メンバーはルート案内に膨大な土地を所有」とい う意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところ です。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-31

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No.	内容	対応案
77	中部横断自動車道活用検討委員会御中 平成26年1月31日 先日、新聞に今年末に日本の借金が一、143兆円と報じられました。これは0歳の子供から老人まで一人当たり900万円の借金。今や日本は世界一の借金大国、山梨県を見れば、*****が推進して建設された明野処分場が55億円の最終赤字として中部横断自動車道(長坂～八千穂)は山梨に恵みをもたらさないことは国土交通省の黒塗りパンフレットが証明(山梨のメリットが書かれていない)しているのに*****は推進している。なぜなのか？ 分からない。国土交通省の**の話では、建設には国費だけではなく県費も使われる。ここで北杜市民に考えて頂きたいのです。北杜市民であることは山梨県人でもあり日本国民でもあることを。中部横断自動車道(長坂～八千穂)は交通量が少ないことから採算が取れず国の新直轄で建設される見込みだと考えられます。通行料金収入が無く、山岳高速道路としての大きな維持費が永遠に続く負担の遺産です。(維持費は国の負担=国費の負担) これは動かないので息子が後先考えずに、返せるめどが無いローン組んでスポーツカーを購入する様なもので個人破産がめに見えています。 *****は第1回活用検討委員会の冒頭の挨拶で「この道が北杜市にとってプラスでなくむしろマイナスとなるかもしれません」と語られたことは、私は事実だと思います。観光資源としての景観に傷をつけることは北杜市にとってマイナスだと思います。 観光地？ 清里も道を造れば観光客が戻るとは思えませんし、ゴーストタウンの様なシャッター街、打ち捨てられたお店やペンションの幽霊屋敷、皆さんは見えて気持ちが悪く観光できませんか？ この様な美しい景観を処理しなければ清里は過去の遺物となります。(道よりもプラン作りが大切です。) 明野処分場を破たんさせ県民に借金を背負わせた*****もルート帯に広大な土地を所有していることを国土交通省に言わなかった*****も中部横断自動車道(長坂～八千穂)を命の道として推進していますが本当でしょうか？ 消防署に聞いたところ、重度の患者は甲府の救命救急センターに運ぶそうです。津波で急激に曲がり長坂を目指すBルート案、もし曲がらず直線的に道を造れば5分ほど甲府が近くなり怪我人、病人を早く運べます。緊急医療は1分1秒が生死を分けます。 このことは清里地区や津金地区の怪我人、病人にとって須玉方面に直線的にルートを設定した方がより命の道になることを示しています(あくまでも近くにインターがあればの話)国土交通省は会見の中で国道141号を脆弱な道と表現しますが、この道を造ったのは彼ら国の機関です。なぜ脆弱な道を造っておきながらそれを理由に又道を造ろうとするのか？ 不可解には思いませんか？ 以上のことを考えると更なる借金を積み上げるより、脆弱な国道を造った責任を取って頂くため国道141の改良を望みます。国にも県にも市にも今はお金が無いのです。高速道路だけが地域の問題を解決できると言うのは幻想です。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、「観光資源としての景観に傷をつけること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観(視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全)に基づき、取り組んで参ります。 「観光地？ 清里も道を造れば観光客が戻るとは思えません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針」に「にぎわい創出(玄関口づくり)」に基づき、取り組んで参ります。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市民の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「ルート帯に広大な土地を所有していること」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。 「国道141号の改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
78	私の会社は8年前に愛知より本社移転をし、この地で新しい事業として造園業に参入するべくモデルガーデン(ランドスケープガーデン)を造園いたしております。 このモデルガーデンを造園するのにあたり、北杜市役所に出向き情報を集め公共事業についても聞きましたが予定が無いとの返事で着工しましたが、完成まであと2年となりました現在、国土交通省の計画を知り愕然と致しております。 後で知ったのですが、16年前より中部横断自動車道(長坂～八千穂)が長坂に接続することは以前より決定事実と聞き落胆いたしました。いまさら別の知にモデルガーデンを造園するわけにもいかず。 新規事業参入にも暗雲がたれこめています。 この責任は北杜市にあると思います。建設情報をあえて公表してこなかった責任は重大だと思います。北杜市の景観は日本の宝です建設推進の姿勢をお考え直し下さい。平成26年1月31日	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「北杜市の景観は日本の宝」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観(視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全)、環境・景観(視点③:良好な生活環境への配慮)に基づき、取り組んで参ります。
79	☆結論として 中部横断道は必要ありません。 141号の改修で充分です。 ☆理由(数多い中で) 1. 今の国の財政はきびしく多額の借金がある中で、必要でない「必欲」の高速は子供世代に負担を強いる事になる。 2. 今あるインフラの整備する事が最優先である。(トンネル、橋等) 3. 現在の交通状況を見ると、高速を作らなくても141号の改修で充分対応できる。(現状の交通量の調査はしたのか？ しているのなら開示してもらいたい) 4. 標高の高い寒冷地での高速は非常に危険であり、有効に活用できない。 5. 何度も行なわれた住民説明会の意見がまったく反映されていない。 6. 急な新ルート変更の経緯が非常に不透明である。 7. 新ルートの範囲に関係者の多大な土地が含まれている事も非常に疑問を感じます。 ぜひ高速計画を白紙にして下さい。 よろしくお願致します。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「141号の改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「標高の高い寒冷地での高速は非常に危険」に関しては、冬の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。
80	●中部横断自動車道は作るべきではない。 その理由 国道141号の改修によって中部横断自動車道(長坂～八千穂)の整備はできる。生活道路でもある141号をより使いやすい道路に改修の方が地域住民には望ましい。そもそも自然を破壊し、経済効率と人間にとっての利便性のみを追求して近代文明そのものが行き詰まっていることは明らかです。地球の自然は修復できないまでに破壊されてしまいました。既に絶滅した生物も多く、経済発展などという人間のエゴによって絶滅の淵にいる動植物ばかりでなく、今や私達人間が生命をおびやかされています。電磁波、騒音、空気、水、大気汚染…… 北杜市は、コンクリートでおおわれた日本の中でもまだ美しい自然を残している地域です。この美しい自然を残し、私達の生き方、文明を問い直し、未来の世に根を残さないようにしたいものです。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「北杜市は、コンクリートでおおわれた日本の中でもまだ美しい自然を残している地域です。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針」に「多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

:国に対する意見

:国・市に対する意見

自025-32

No.	内容	対応案
81	北杜市中部横断自動車道活用検討委員会パブリックコメント 中部横断自動車道のパンフレット(もっと近くなる きっと楽しくなる)の記述の嘘、騙し、すりかえを、「中部横断自動車道長坂一山梨県境」についてコメントをします。「山梨県境一八千種」についてはコメントしません。尚、「双葉JCT一新清水JCT」については、反対の立場を取っていません。 1. ミッシングリンクの解消 強くなやかで国際競争力のある国土の形成 首都圏の環状ネットワークを形成すると言っていますが、清水JCTから東北自動車道、北関東自動車道に連絡して環状化をイメージしているようです。何故、佐久を経由する必要がありますのでしょうか。既に甲府から140号線で関越自動車道花園ICに繋がる計画があります。その方が最も重要な都心や北関東・東北・常陸・関越の各自動車道に繋がる距離が短くなります。地震の発生確率も変わりません。地震等の災害時には、もっとも近いルートが望ましいはずです。ミッシングリンク解消であれば、140号から花園ICへのルートがベストです。 国際拠点港湾との連携 清水港と新潟港とを高速道路で結ぶ必要性はあるのでしょうか。どのようなメリットがあるのでしょうか。現在は、清水港で荷揚げした貨物を新潟港へ運ぶ需要は無いそうです。その逆もそうです。船で運搬するメリットは大量の貨物運搬ができるからです。その貨物を、何台の貨物車が片側1車線の道路を使って運搬するのでしょうか。道幅からしても、1台の貨物車が故障や事故を起こしたら、すぐに通行止めです。全くナンセンスなことです。災害時、どちらかの港が被災した場合でも、被災した湾に向かう予定の船は近くの被災していない港に運ば、何も問題ありません。災害時ですので多少の混乱はあるでしょうが、100歩譲っても、長坂一新潟への高速道路は、既に中央道一長野道経由で行けます。今更、佐久経由の道路の必要性はありません。約10kmほど短くなる片側1車線・高度1360mの高速道を危険を冒して通過する貨物自動車、物流業者はありません。 2. 安心安全の向上ミッシングリンクの解消 異常気象時における代替道路の確保 パンフレットでは新清水JCT一双葉JCTのケースしか挙げられていません。長坂IC一山梨県境の間は、国道141号、県道28号、広域農道(レインボーライン)など多くの道が八ヶ岳南麓を通過しています。異常気象時でも十分な代替道路が確保されています。更に安全安心を求める為に、国交省が危険箇所があると認めている141号を改修すれば、住民は安心できます。 3. 医療活動の支援 山梨県の救急搬送先は、主に甲府市内です。現在でも北杜市からは、十分に1時間でカバーできます。「長坂一県境」の高速道路の必要性はありません。 むしろ、高速道路を使うことで反対の危険が増えます。例えば、141号とBルートの交差する所に津金ICが在るとします。141号で、津金一須玉ICが約11kmです。中部横断道では、津金一長坂JCTが約7km、更に長坂JCT一須玉ICが約10km計17km。約6kmの遠回りになります。141ルートが60km/h Bルートが80km/hとしても、時間にしてBルートが2分も遅いことになります。更に片側1車線の高速なので、トラックなど遅い車があれば、スピードをゆるめ追い抜くことになり、2分以上も遅くなります。救急搬送では1分1秒を争います。決して少ない差ではありません。 基本的に救急搬送は、道路の問題ではありません。医療施設の確保の問題です。 Bルートの予算2000億円が救急搬送の問題を解決するのであれば、第三次医療施設を峡南地域や峡北地域に設ければ良いのです。更に山岳救急であれば、ドクターヘリを増強すれば良いのです。道路予算を救急医療の充実に回したら、住民に喜ばれます。 4. 物流の効率化 北杜市には、課題が存在しません。もちろん消費地に届けるのは、早いほど良いのですが、数分の時間を2000億円もかけて自然を壊し、造るだけの価値はありません。 また、高速道路は、アクセスコントロールされているので、ICに近ければ、早く届けられますが、ICに遅ければ、高速に乗るまで時間がかかります。多くの場合、高速の方が遅くなるでしょう。141号を改修すれば、安全性も高めることが出来ます。 上記にコメントしたように、パンフレットに記載された必要性は、「長坂一県境」間については、なんらメリットはありません。Bルートの撤回を求めます。 北杜市としては141号の改修が、もっともメリットがあります。活用検討委員会としても、141号を、どのように改修(拡幅・バイパス・トンネル・歩道・自転車道・駐車場など)、北杜市がどのような道を目指し活性化していくのかの理念と実現イメージを共有することから議論することを求めます。 今の素案では、各委員も市民も実現イメージを共有できません。 例として、幾つか挙げます。 ・風景 ・企業が進出し活気に満ちた都市 ・八ヶ岳と田園が広がる自然の風景 ・安曇野のような、自然な川の水が流れる町 ・生活スタイル ・公共交通が整備され、高齢者でも移動に不便が無い田舎 ・子供から高齢者までが一様に集う田舎町 ・生活に必要なものが揃う店が近くにある町 行政の施策 ・市民に気軽に意見が言える、開かれた行政 ・自律した地方自治を目指し、主体性を持った行政 ・市民による起業をサポートする行政	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「高度1360mの高速道を危険を冒して通過する貨物自動車、物流業者はありません。』に関しては冬の走行安全性に関するご意見を捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。 「141号を改修」という意見に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「今の素案では、各委員も市民も実現イメージを共有できません。』に関しては、まちづくりビジョン策定にあたっては、パブリックコメントなどにより市民の皆様のご意見を伺いながら検討しているところで、ビジョンを達成するための道路プラン策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。 「企業が進出し活気に満ちた都市」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。 「八ヶ岳と田園が広がる自然の風景」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 「安曇野のような、自然な川の水が流れる町」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。 「公共交通が整備され、高齢者でも移動に不便が無い田舎」、「子供から高齢者までが一様に集う田舎町」、「生活に必要なものが揃う店が近くにある町」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-33

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No.	内容	対応案
82	標題:「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」に対する意見提出 北杜市役所道路河川課 中部横断自動車道活用検討委員会事務局殿 「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」に関し、以下のとおり意見を提出します。 記 中部横断自動車道ハケ岳南麓の会としての集約意見 中部横断自動車道の計画に関し、ハケ岳南麓エリアについては、国道141号の整備拡充あるいは国道141号に沿って高規格道路化を進めるべきである。 集まった意見の要約 ・当会は、高規格道路の全国ネットワーク化そのものに反対するものではありません。 ・当会は、高速道路のハケ岳南麓エリア(概ね川俣川、須玉川または国道141号線より西側の地域)の通過に反対します。 ・国土交通省によるハケ岳南麓エリアの道路建設に関する意思決定プロセスは、地域住民をないがしろにしているだけでなく、正当なものではなく、決定そのものが無効です。 ・北杜市当局および北杜市中部横断自動車道活用検討委員会の進め方は、市民の真の声を聞かず、地域を牛耳っている一部の人間による私利私欲に基づく一昔前の非民主的方法で進められていると私たちは感じています。 ・日本の国が置かれている財政状況から常識的に考えて、東北復興を優先することは当然として、道路整備の分野にだけに限っても、中部横断自動車道の当エリアは劣後順位とすべきものです。 ・これからのスロートーリズムの時代のハケ岳南麓地域の観光業を含めた活性化を考えると、高速道路はプラスにならずマイナスに作用すると考えます。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の整備拡充」という意見に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15から「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
83	標題:「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」のパブリックコメント 街作りビジョンのかかげている目標?を達成させるためには中部横断自動車道がなくてはならないもの、ではないと思う。 道路を作らなくても地域が活性化する方向はあると思う。 つくらないという姿勢をとる方が都会の人を中心に観光的インパクトがあり印象付けられるのではないかな。 住民説明会で反対意見が圧倒的に多かったにも関わらず、建設ありきの街作りビジョンはおかしい。 少なくとももっと議論が必要だ。 これからは今ある道路のメンテナンスを公共事業としてすすめるべきだ。 北杜には都会にない物を求める。 都会化するのではなく、不便はあってもスローで豊かな暮らしができるという事を都会に向けアピールできるのではないのでしょうか。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「今ある道路のメンテナンス」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14から「視点①:安全・安心の確保に向けて」に「維持・管理」に関する文章を追記します。
84	標題:「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」のパブリックコメント 説明会や署名で反対の意見が多数でしたがその意見の数々は議論されているのでしょうか? 本当に道路が必要なんですか? 反対意見のことを考えてみたことはありますか? 作るのは簡単ですが元に戻すことはできません。 建設予定の枠の中に将来家を建てたいと思っている場所があります。 高速道路のそばに暮らしたくないです。 お金、ではなく生活を脅かされている人たちの事を考えてください。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。
85	中部横断道活用検討委員会の町づくりビジョンに対するパブリックコメント 中部横断自動車道活用検討委員会作成の町づくりビジョンに対するパブリックコメントです。真摯に取り上げ検討いただけるようお願い申し上げます。 1. 私は6年前に、国交省や山梨県の進める二地域居住制度の支援策を知り、5年前から高根町で二地域居住をしています。北杜市高根町を選んだのは、北杜市の掲げる「自然と暮らしが調和する環境共生都市の創造、環境日本一の漂いの杜づくり【環境保全・景観保全・自然】自然の恵みを活用したクリーンエネルギー自然環境は北杜市の最大の資源です。これを守り育て、生態系の保護や循環型社会の構築、クリーンエネルギーシステム、景観形成などに取り組み、環境に優しいまちづくりを進めます。」という北杜市の町づくりに共鳴したからです。家は、一部山梨県産材の無料支援を受けました。またこの間に二地域居住のモニターも引き受けました。国も県も市も、首都圏から移住を希望する人たちが、静かな田舎暮らし、田園や、山岳景観などに価値を認めていることを十分承知しているはずで、ハケ岳南麓は、それを最もかなえる地域です。県も市も、よりによってここに高速道路を誘致するとは、とんでもないことです。急速な少子高齢化社会にあってハケ岳南麓に中部横断自動車道を建設することを前提とした町づくりは、この地域を大きく衰退させる可能性もあります。 道路河川課による今回の町づくりビジョンの撤回を求めます。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で「静かな「田舎暮らし、田園や山岳景観などに価値を認めている」」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-34

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No.	内容	対応案
88	標題「パブリックコメント」 高速道路がこの清里(ハケ岳南麓)に作られることに反対です。 清里の自然が大好きで14年前にペンションを始めました。 あの風景は底だからと言われ、底ならば上向いて行くだらうと安易に考えておりましたが、一向に上向くこともなくお客様は減るばかりで今に至っています。 今清里で魅力あるもの、売りに出来るものはこの自然の姿です。 此処に高速道路のコンクリートの塊は景観を損ねるだけで、お客様にそっぽを向かれる事は目に見えています。 高速道路を作るよりは国道141を整備する事が、財政的にも市民や観光客のためにも一番良い事と考えます。 まちづくりビジョンの「多様な自然・環境・景観とともに」にうたわれていることに矛盾する事は止めていただきたいです。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「今清里で魅力あるもの、売りに出来るものはこの自然の姿です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。 「此処に高速道路のコンクリートの塊は景観を損ねるだけ」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 「国道141号を整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
89	2014.1.31 中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 パブリックコメント ★このままBルートが決まったら、推進派の市民と沿道住民の分断が進むだけです。北杜市は現在の時点で分断を回避し、不幸な市民を出さない対策を講じる責任があります。 ★2,000億円近くをかけて建設される高速道路計画が、トップダウンで降りてきて、北杜市は「ルートは国の決めること」とする姿勢ですが、これでは自治体の機能放棄ではないでしょうか。 ★国道141号線改修を優先して下さい。市民の生活道路でもあります。北杜市には、国・県と連携して危険、脆弱箇所の改修責任もあると言えます。高速道路はそのあとの問題です。 ★国道141号を改修、改良の方法や、それを北杜市の活性化に資する方法はさまざま考えられると思いますが、まずそこから市民間議論を始めていただきたいと思います。 ★3年間の以下のようなプロセスを検証して下さい。①2回目のアンケートは出題目と書かれています②A/Bルートは実質、1本のルートで比較検討の機会を奪われています③WG審議資料には作務的な集計表が作られ提示されています④説明会で示されたルート図と、WG審議資料のルート図では、意図的な描き換えが行われています⑤住民参画の要請を無視されました。 ★北杜市は住民参加の道づくりの要請を無視しましたが、このことは横断道が市民のための道路でないことを露呈したと理解しています。 ★住民参加の道づくり事例は、能越自動車道や横浜環状北西線など数多の例があります。そこで行われる市民協議と合意形成により、市民に一体感が生まれ街づくり、地域活性化につながると思われますが、このBルート前提の活用検討委員会のビジョンづくりは市民の亀裂を助長するものでしかありません。 ★北杜市は、国交省と連携し、Bルートの代替案を提示して、ワークショップなどを行い合意形成に努めていただきたい。 ★関東地方小委員会★は、双方対話と繰り返し発言しています。異なる意見をお互い聞くことで理解と合意が生まれます。北杜市は関係機関と連携し、そのような場を設定し、住民間の合意形成に努めていただきたいと思っています。 ★新ルートが示されてからまだ1年しか経っていません、必要性を含めた住民参画の議論はこれから行われなくてはなりません。 ★社会資本整備審議会道路分科長は「すべてハイグレードな高速道路である必要はない、道路にもグラデーションがあってもいい」と言われています。もしここを繋ぐにしても、現在の141号線を少し走行性の高い道路にすればいいと思います。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号線改修」、「国道141号をまず早急に改修すること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「ワークショップなどを行い合意形成に努めていただきたい」、「ワークショップなど出来る限り大勢の市民参加で協議」に関しては、検討の進め方の方法の一つであり、今後の審議の参考意見とさせていただきます。 「社会資本整備審議会道路分科長は「すべてハイグレードな高速道路である必要はない、道路にもグラデーションがあってもいい」と言われています」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。
	★Bルートを確定させるため、付け焼刃的に、わずか20人の、しかもあて職の委員で作り、3月までにビジョン作成とは、事務局主導にならざるを得ません。これでは市民軽視の事業と言わざるを得ません。 ★ここ南麓は、3,000級の山で、南側がなだらかな山麓扇状地形で、かつ首都圏と程よい距離にある。また500〜1300mの好きなところに住める環境。高地であるので有機野菜や自然栽培の適地などまことに恵まれた地と言えます。その南麓に高速道路を作ろうとするのは、長い歴史のほんの一時代の人間の便益のため、永久に失われる巨大な破壊を加えることとなります。 ★南麓は都市計画地域でないため、無秩序な開発も進んでいます。できれば河川沿いの河畔林の復元、道路沿いの並木道の整備など環境、景観の整備が必要です。高速道路で失われる森林、住宅地の稀少な林など、取り返しのつかない損失だと思います。 ★他所の市の事例ですが、高速道路計画が20年前に作られて以降、並行して走る国道の改修が全く放置され、渋滞解消されないままとなっているとのことです。ここでも、計画が決まったら国道141号は手つかずのまま放置される可能性があります。この事例のようにしないためには、国道141号をまず早急に改修することが必要で、早期に、部分開通が可能。コストが安い。維持管理費が安い。市民の利便性が向上。環境破壊が少ない。用地買収やその時間が少なくて済む。冬季も除雪等が容易。 ★国道141号改修で不足とする意見は、走行性、防災上かと思われ、改修の方法で走行性はカバーできると考えます。後者は広域農道などを緊急用道路として整備、指定などすれば可能と考えます。 ★この計画は、日本一高所を走る高速道路となりますが、説明会では冬季の懸念には全く触れていません。長い下り坂の危険性が心配です。それでも事故率は減少ししか言いませんでした。計画を見直すなど検討が必要です。 ★南麓には稀少なフクロウ科のフクロウがいます。低空を飛ぶため交通事故に遭うフクロウが年に何羽もいるということです。高速道路でさらに危機に瀕する可能性が大きいのと思われ。 ★中央道で騒音の被害に苦しむ人も大勢います。長坂JCT周辺の集落はダブルパンチとなります。 ★長坂商店街や長坂IC周辺商店は、ストロー現象で寂れる可能性があります。どう対策をとられるのか。 ★活用検討委員会のビジョン作成の前に、どのような道路を、どこに整備するのか、その重大な関心事をこそ、ワークショップなど出来る限り大勢の市民参加で協議してまとめるようにして下さい。	「有機野菜や自然栽培の適地などまことに恵まれた地」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。 「高速道路で失われる森林、住宅地の稀少な林など、取り返しのつかない損失」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。 「日本一高所を走る高速道路となりますが、説明会では冬季の懸念には全く触れていません」に関しては、冬季の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 「南麓には稀少なフクロウ科のフクロウがいます。低空を飛ぶため交通事故に遭うフクロウが年に何羽もいるということです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。 「長坂商店街や長坂IC周辺商店は、ストロー現象で寂れる可能性があります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元氣なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-35

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No.	内容	対応案
意見	1. 私はハヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道(高速道路建設計画)・新ルート案に反対します。計画の見直しと現道(既存の道路)を活用した道路総合整備に基づく国道141号の改良と整備を求めます。 2. この不要不急の大型公共事業であるハヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道建設は、日本の国、山梨県や北杜市にとってのかけがいのないハヶ岳南麓の自然環境、豊富で優良な湧水群、生活環境などを含む環境全体を悪化させ破壊する大きな懸念があります。このハヶ岳南麓の環境破壊の恐れがある中部横断自動車新ルート案を見直し、ハヶ岳南麓全域の環境保全を求めます。 現在、富士周辺や笛吹市、北杜市等においても太陽光発電施設(メガソーラー)の建設が環境保護や景観保護等に関わる規制やガイドラインが明確に定められないままに、いたるところで森林伐採が行われ、環境と景観保護の点からも関係自治体・地元市町村が対策のために国・県に働きかけています。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改良と整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「くらしの視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
90	ハヶ岳南麓を横断する高速道路建設計画では、現在示されている範囲だけでも2車線幅と盛り土面積を含め約50mに加え工事車両通行用面積、全長は長坂から八千穂間約34Kの面積で大規模森林伐採等が行われることになると考えられます。その他、土砂崩れなどの災害など予測のつかない大規模な環境破壊の懸念もあり、このハヶ岳南麓を横断する計画を到底容認することはできません。 3. 昨年6月27日開催の国交省社会資本整備審議会関東地方委員会ワーキンググループでの審議が行われましたが、いまだ関東地方小委員会には正式に答申受理がなされておらず、現在、審議内容及び関連する事項についての精査がされている段階です。こうした中で昨年7月16日に北杜市が北杜市中部横断自動車道の整備を前提とした活用検討委員会を開催したこと、そして現在も継続開催されていることに強く抗議し、開催中止を求めます。 北杜市活用検討委員会のハヶ岳南麓新ルート(Bルート)を前提とした審議を直ちに中止し、新ルート案に反対する当該住民や別荘所有者等、ハヶ岳南麓を横断する高速道路建設に反対又は懸念を表明している住民などの意見が広く反映されるよう、意見交換ができるしくみづくりするよう要請します。 4. * * * には中部横断自動車道ハヶ岳南麓新ルート案に反対又は懸念する住民との直接対話する意見交換会を速やかに開催するよう求めます。	「ハヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道建設は、日本の国、山梨県や北杜市にとってのかけがいのないハヶ岳南麓の自然環境、豊富で優良な湧水群、生活環境などを含む環境全体を悪化させ破壊する大きな懸念があります」、「ハヶ岳南麓を横断する高速道路建設計画では、現在示されている範囲だけでも2車線幅と盛り土面積を含め約50mに加え工事車両通行用面積、全長は長坂から八千穂間約34Kの面積で大規模森林伐採等が行われることになると考えられます。その他、土砂崩れなどの災害など予測のつかない大規模な環境破壊の懸念もあり」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12「環境・景観」基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。
92	北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)のパブリックコメントとしてメールいたします。 中部横断道を作る前提の活用をご検討のことと思いますが、その前に道路の必要性を慎重に議論する必要があると思います。 新しい道路を作る前に、今ある道路の活用計画、改善計画、メンテナンス計画を練ってください。 中部横断道予定地には、フクロウなどの貴重な野鳥やヤマメ等の希少な動物の生息地が含まれています。高速道路との共存は難しいと思います。配慮すればよいというものではないです。 一度失われたものは二度と戻りません。 50年、100年先のことを考えて市政を行ってください。 税金の無駄遣いにならないよう、道路の必要性に戻って検討なおしてください。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「中部横断道予定地には、フクロウなどの貴重な野鳥やヤマメ等の希少な動物の生息地が含まれています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13「環境・景観」視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。
93	パブリックコメントとして検討いただきたいルートを提案させていただきます。(ルート図添付)なぜB案とは違うルートを提案する理由は、今のB案が北杜市民にとって最善とは思えないからです。 その理由①、ハヶ岳パーキング、中部横断ジャンクション、長坂インターの間隔が狭すぎてそれぞれの間隔が1キロとれず高齢者の判断ミスにつながり重大事故発生の懸念。 その理由②、今のBルート案の公人の土地問題の不透明解消のためです。 * * * * * は長坂接続が決定される前より中部横断自動車道整備促進山梨県北地域連絡協議会など建設を誘致してきました。当然市民が知りえない情報も入手できる立場の人です。 それは* * * * * の* * * * * も同じだと思います。この様な人たちが案としてのBルート帯に土地を所有していれば、公共事業としての政策が公平性に欠け問題だと思えます。 その理由③、命の道としての欠点、命の道として* * * * * の提言がありますが、(発言資料1.2添付)Bルートは国土交通省の資料では、とうとう津金で90度方向を変え長坂に接続していますが、素直に直線を引けば須玉接続も可能です。 消防署に話を聞くと重度の患者やけが人は甲府の救命救急センターへ運ぶそうです。 直線で結ぶルートならば5分短縮できるので清里、津金地区の人は須玉や双葉に接続した方が命の道だと思えます。 私が提出するルート図は以前に沿線住民の会の* * * * * が道路に関しての方の協力で創り上げたものです。このルートは①、②の問題を解決できます。 ③については双葉や須玉に接続することが命の道だとは思いますが、国土交通省は須玉の坂の勾配を気にしているのがえてラインガルテン方面に曳きました。 このルートの良いところは立ち退きを迫られる家が少なくなる点です。 活用検討委員会でご審議いただきたく提出いたします。 (添付資料(ルート図、知事、及び市長発言資料の3枚))	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「ハヶ岳パーキング、中部横断ジャンクション、長坂インターの間隔が狭すぎてそれぞれの間隔が1キロとれず高齢者の判断ミスにつながり重大事故発生の懸念」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14「くらしの視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき取り組んで参ります。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や地域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を聴き、委員による合議制により審議を行うこととなっています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様の対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「公人の土地問題」、「Bルート帯に土地を所有していれば、公共事業としての政策が公平性に欠け問題」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

自025-36

No.	内容	対応案
94	●パブリックコメントを提出いたします。平成26年1月31日 Bルート案は北杜市民として公平性に欠けた案だと思います。地方自治体としての北杜市(公共機関)が推進するルート帯の中に公人としての建設推進をする* * *の土地があることが問題だと思います。 証拠として2通登記簿謄本を添付します。(これは一部の土地です)。 又この土地は県民、市民に資産公開されています。活用検討委員会メンバーや家族などの名義の土地を合わせると約43,908坪(144,899㎡)となります。たまたま入っていたけど国土交通省の* * *は言いますが、資産公開されている北杜市の公人の土地全てが(* * *の自宅だけが外れている)、前のルート帯3km幅でも今回のBルート帯1kmでも中に漏れずに入っている。この偶然を市民はどの様に思うのか。資産公開されている北杜市の土地はルート外には存在しない偶然? 活用検討委員会のメンバーの土地については、毎日新聞で問題だとし記事にもなりました。中部横断自動車道活用検討委員会が公平性をお考えください。(なぜ* * *はこの土地を国土交通省に隠していたのか?) (登記簿2通添付)	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「公人としての建設推進をする* * *の土地があることが問題」、「活用検討委員会のメンバーの土地については、毎日新聞で問題だとし記事にもなりました」、「中部横断自動車道活用検討委員会が公平性」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。
95	1.国土交通省の官僚に対して 「中部横断自動車道」については、「国土開発幹線自動車道建設法」という法律に組み込まれているが、そのうちとくに「北部区間」と呼ばれる「長坂～八千穂」間については、現在のところ、その法律の中で言う「基本計画」の段階であるため、工事を着工することについては国庫の最高機関である「国会」での議決がなされていない。したがって、当然予算も付いてはいない。 そのような状態で、われわれ主権者の代表でもなく公僕でしかない国土交通省の二名の官僚が、「計画段階評価」あるいは「調査検討」の段階であると言いつつもあたかも当該道路事業の実施がすでに決まっているかのように振る舞って、あるいは実施を前提としているかのようにして、北杜市の住民の意見を聞くのではなく、主権者である「地元」の住民に対して「説明」する会を持つなどというのは国賊行為であり、民主主義政体に対する反逆的行為である。 なぜなら、国交省の官僚のやっていることは、この国が内外に向けて公式に採用している国会を国庫の最高機関とする「議会制民主主義」という政治原則に反逆する、「やっではない行為」であり、「国を乱す行為」でもあるからだ。 2.また、当「パブリックコメント」の実施主体である「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会」(以下、単に「検討委員会」と呼ぶ)の委員を選任している北杜市役所建設部道路河川課(以下、簡単に「担当課」と呼ぶ)の* * *は、やはり公僕という立場でありながら——本来、これも公僕が議会の承認もなくやってはならない行為なのである——一、その委員の選任にあたって、どういった客観的根拠に基づいて委員を選任しているかの根拠を明らかにせよと要求しても、「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会設置要綱」という名の委員会構成と当委員会の構成員の肩書きと人数を示すだけで、肝心のそれを今もって明らかにしていない。 それだけではなく、驚くべきことに、「担当課」の* * *は、この道路がもし建設されたら最も大きな被害や影響を受けることがはっきりしている住民からなる幾つかの団体の皆さん(以下、「直接関係住民」と呼ぶ)がこの検討委員会に加わることを幾度となく要望しているにも拘らず、「直接関係住民の意見は聞いていますから」の一点張り、それを拒み続けている。 「直接関係住民」とは、たとえば、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」や、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会」そして「八ヶ岳南麓景観を考える会」等の皆さんのことを意味する。 さらに驚くべきことに、「検討委員会」には最も加えるべき団体の関係者を意図的にボイコットしながら、「担当課」の* * *そしてその上部の「建設部」の* * *は、当該道路の着工については既述のように「国会」はいまだ議決もしていないのに、ということは全国的主権者は承認もしていないのに、この横断道を企画してもっとも建設したがついて国土交通省の最先機関である「国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所代表者」という官僚を加え、さらにはこれも中央の官僚たちが中心となってつくって来た「タテ割り制度」を公然化の中で、官僚の意のままに動く「山梨県土木整備部道路整備課高速道路推進室代表者」と「山梨県中北建設事務所北支所代表者」という山梨県庁の最先機関の役人を委員に加えるなどしている。 要するに、「検討委員会」は、最も重要な「直接関係住民」という主権者を除外しながら、霞ヶ関の官僚、山梨県庁の役人、北杜市役所の役人という、いずれも「公僕」だけで取り仕切れる場となっている。 文字どおり主権者抜き「官僚と役人の独裁」の場なのだ。これ自体、「闇権力」の、あるいは「非公式権力」の行使であり、公僕として絶対にやってはならない国賊行為であり、主権者に対する反逆的行為なのである。なお、公平のために言えば、「検討委員会」には、一応、「市民代表者(計8名)」および各種団体代表者(計3名)」が加えられているが、その人たちは、いずれも、自分が代表している管轄下の住民全員あるいは自分が所属している団体の全体の意見を聞く場を公式にもって、それを集約して当「検討委員会」に参加しているのではないことは明らかなのである。	

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-37

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

No	内容	対応案
	今回の、このパブリックコメントはそういう背景の下につくられ、企画されたものであることを知った上で、「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(案)概要版」および、「同 策定にあたって寄せられた主な意見の例」および、「同 策定にあたって寄せられた主な意見の例」を見ると、これだけで「パブリックコメント」という名の「住民の声」を聞くこととするのは、どう考えても、メチャクチャだと思う。 「北杜市」合併直前のアンケートもそうだった。「北杜市都市(まち)づくり計画(基本方針)」と「北杜市景観計画」を策定するどぶち挙げたときもそうだった(平成19年12月)。「北杜市まちづくり計画」(平成22年12月)もそうだった。そして、立派な「北杜市まちづくり計画概要版(副題:秩序ある土地利用推進のためのガイド)」を出したときもそうだった。 まともな都市計画も土地利用計画もないまま、ただ道路の拡幅・新設、森林伐採という乱開発だけが進んでいる中、何が実現したというのか、何が実現したのか、しなかったのか。しなかったとすれば何が原因で実現しなかったのか。その原因は解決の目処は立ったのか。 次の計画ではその原因除去のための課題を引き継がれたものとなっているのか。…… こうしたことが実は最も重要なことなのに、肝心なそれは全く放置し放した。 実際、今回、私たち住民から「パブリックコメント」を聞こうとしている土台となる「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(案)概要版」をみても、都市計画とは何か、土地利用計画とはどういうことかについて、勉強した後などまったく見られず、言葉さえ知っていたなら、中学生でも思いつきで書ける項目ばかりだ。 しかも、これも驚くべきことだが、「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」と言いながら、そして「ビジョン」とは「未来像」のことであり「見通し」のことであるにもかかわらず、このビジョンには、中部横断自動車道が北杜市を貫通したなら、今の北杜市は、環境・景観・市民生活・交通事情・経済はどうなると予想されるのか、という最も肝心な「見通し」については、科学的で都市計画的で定量的な分析は全くない。 つまり、「パブリックコメント」を寄せてと言われても、私たちにとっては、客観的に信頼できる判断材料がないのだ。 そんな状態で意見を聞こうとしていること自体も、主権者を愚弄した話だ。 3.では、一方、本日平成26年1月31日までの間、私たち主権者に選挙で選ばれた政治的代表である「北杜市議会議員」および「山梨県議会議員」は何をして来たか。 この「中部横断自動車道」の問題は、遅くとも平成23年2月の時点の「国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所」主体の関係住民への「第1回アンケート」が実施されたときから表面化して来た問題である。 ではその後、彼等議員たちは、選挙で選ばれた時点で自分たちに課せられた「政治的代表」としての役割・義務を果たして来たか。 一向に果たしてはいないし、果たそうともしていない。 既述のように、もっぱら「執行機関」である北杜市役所の役人=公僕に放任した格好で来ている。 たとえば、議会つまり、*****、および関係*****として当然すべき次のようなことは、一切して来ていない。 「この中部横断自動車道の問題について、北杜市住民の皆さんの声を正式にお聞きする公式の場を設けますから、どうかそこに一人でも多く参加して下さい、率直な意見をお聞かせいただきたい。その皆さんの声をしっかりと受け止め、それをもって議会が慎重に議論あるいは審議し、少数意見を尊重しながら議決し、その結果を執行機関である北杜市役所に、これが北杜市住民の総意であるとして、その議決内容を北杜市地方公共団体としての公式の政策として、執行させます。」 していないどころか、むしろ、議員たちは、誰も、公僕であり、執行機関の担当役人に任せっ放しなのだ。 本来ならば、北杜市議会議員も、山梨県議会議員も、昨年、11回にわたって行われた国土交通省の官僚二人の主導の下に行われた「地元説明会」に対しても、国会でいまだ議決を見ていない事業なのだから、「自治」体としての北杜市の立場から、あるいは山梨県としての立場から、「あなた方(公僕)がそんなことをすることは許されないことなのだ。私たちが意見を聞く」と言ってそれを直ちに中止させ、自分たち議員が、そこに集う住民の前面に出て、取り仕切るべきだった。 つまり、北杜市役所の役人は、本来してはならないこと、許されないことを、露ヶ間の官僚に従属して行っており、北杜市議会議員は、本来自分たちが果たすべきことをせず、むしろ執行機関である北杜市役所の役人、あるいは国土交通省の官僚に対して、「国のやることだから」と、「国」とは本来「国民」のことであることも知らずに、ひたすら従属している。 なお、追加すれば、昨年6月、議会が議決したことになっている「当該横断自動車道は推進」とのものは、その決議に参加した議員は、それぞれが、公式に関係住民の意見や要望を聞かないままの議決ゆえに、全く無効である。 私たち主権者は、議員が立候補時に掲げた「選挙公約」以外には、議決権を行使する権力も権威も与えてはいないからだ。 私たちは、議員に、権力・権威を白紙で付託しているわけではない。 4「長坂〜八千穂」間の「中部横断自動車道」の建設を望んでいらっしゃる北杜市住民の皆さんにお願いします。 もはやこの国の借金1000兆円を超えていることは先刻ご承知のことと思います。そして今のままですと、その借金は、私たちの子や孫にそのままツケ回されてしまう可能性が大了。 そうでなくとも、将来世代が担われるものは、今の私たち現在世代が残すことになるであろう「負の遺産」ばかりです。 超巨額借金。汚染され破壊された自然環境。温暖化によって気候変動と異常気象の激化した地球。少子化による若者一人当たりの負担の激増。枯渇間近な化石燃料。半永久的にその安全性をチェックし、テロリストの標的になることを防がねばならない、54基の原発の地下に眠る莫大な量の使用済み核燃料、……。 こういう事情を少しでも理解され、思いやりの心をお持ちなら、せめて、「道路を造ってくれと望む以上、その建設費は俺たちが、俺たちの代で払う。もうこれ以上政府に借金はさせない」といった覚悟を持つとはありませんか！ そうでなかったら、皆さんのお子や孫たちは、そして私の子どもたちも、余りにも可哀相です！ それにもう、客観的状況は、「その高速道が出来れば便利だから、快適だから」という言い分は、理由にもならない状況に至っていると思うのです。 以上	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「この道路がもし建設されたら最も大きな被害や影響を受けること」に関しては、北杜市全体がうける様々な影響と捉えました。これにつきましては、まちづくりビジョン(素案)P10の基本理念、P11のまちづくりビジョンの基本方針・視点、P12〜P19の分野別の基本方針・視点に基づき、取り組んで参ります。 「ビジョンには、中部横断自動車道が北杜市を貫通したなら、今の北杜市は、環境・景観・市民生活・交通事情・経済はどうなると予想されるのか、という最も肝心な「見通し」については、科学的で都市計画的で定量的な分析は全くない」に関しては、今後の審議の参考意見とさせて頂きます。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-38

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

No.	内容	対応案
98	やはり、どう考えてもこの地域に高速道路を通すのは無理があります。 ○まず国策といっても、新しい高速を作ることについて、もう一度検証がいるのに検証を怠っていること(人口減、財政難の部分を引きつと議論していない) ○北杜市のこの地域は自然の素晴らしさをもとめてくる、移住者、観光客、別荘所有者が多く、また農業をこたわって行っている農家がありたいことに増えている。それらによつての「市おこし、街づくり」を考えていくべきであつて、高速ができることで決して経済は活性化されない。それより清里の幽霊でんぼなどをきちんと整備して、東京や他の都市から成功している飲食店やストリート型の店舗などを誘致して、141号を通るとそこに立ち寄ってもらえるような魅力的な街づくりをして、危ないところ、高速に直接入る部分としてはバイパスにしたりして、141号をもっと活用できるような街づくりをしていかないと、高速インターを作ってもそこから観光客は呼び込めず、通過点と化してしまうことは目に見えている。 ○北杜市の未来を見据えて貴重な意見も無駄にしないで欲しい。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「北杜市のこの地域は自然の素晴らしさをもとめてくる、移住者、観光客、別荘所有者が多く、また農業をこたわって行っている農家がありたいことに増えている。それらによつての「市おこし、街づくり」を考えていくべき」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。 「東京や他の都市から成功している飲食店やストリート型の店舗などを誘致」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に位置づけております。 「高速インターを作ってもそこから観光客は呼び込めず、通過点と化してしまうことは目に見えている」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。
99	中部横断自動車道へのパブコメ ハケ岳に新しい自動車道路を作ることには反対である。 道路は、もう十分ある。これ以上の便利さは、いらない。 自然の破壊は、簡単であるが、自然の再生には、膨大な時間とお金がかかる。 そもそも、自動車道を作るという前提で、パブコメを取ることもおかしい。 最悪、どうして新しい自動車道が、欲しいのであれば、現在の141号線を改修工事すればよい。現在でも、141号線の交通量は、それほど多くない。 もうこれ以上、自然破壊を行うことは、公共工事の名に値しない。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「自然の破壊は、簡単であるが、自然の再生には、膨大な時間とお金がかかる」、「もうこれ以上、自然破壊を行うこと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。 「現在の141号線を改修工事すればよい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。
100	「まちづくり」には、「行政の住民に対する誠実な対応」が根底に必要になります。 住民と行政の間に「不信感」があるのは、より良いまちづくりはできません。 またまちづくりには、目に見えるものばかりではなく、目に見えない「住民の精神的なもの」が重要になります。 そして行政は住民に対して、誠意を持って偽りなく、平等に、アンケートや調査を行った上でこそ、「素晴らしいまちづくり」は可能である。 住民たちや別荘所有者や全国のハケ岳ファンと十分に意見交換の場や時間を設けて、正直な意見を誠実に取り入れることをしなくては、よりよいまちづくりなど成功しません。 北杜市公務員の方達は、本気で「よりよいまちづくり」を目指していますか？ 住民や別荘所有者、全国の数万人のハケ岳ファンは注目しています。 ごまかしや不正は、今の時代は隠されません。 「より広い視野」を持って、全市民を配慮して、まちづくりを進めて行かなければならない。 毎年、国交省の方に同じ質問をしています「なぜ、この北杜市に人が最も少ない冬季に、アンケート調査やパブリックコメントを募集するのですか？」 ふほど自信がなくて、隠密に済ませたいアンケート調査なのではないか。 パソコンを持っていない老人や、地域の自治体に属していない住民たちは、特に寒いこの時期は外出もできないので、このような中部横断道に関するパブリックコメント募集のことはできません。 高速道路みたいな大きな問題に関するアンケート調査なのに、関係住民に知らせることができなかったのは、北杜市側の不手際と落ち度ですね。 私達の血税が膨大に使われる問題なのですから、そんないいかげんな住民調査だけで済まさないで下さい。 平成24年9月の「地方小委員会ワーキンググループ会議」で、*****がおっしゃったように、「国交省が平成24年に北杜市で行った『ちやちやアンケート調査』の内容と、集計のやり方は不誠実であり、ひどすぎる！！」と*****も呆れておられました。 *****を始めとして北杜市民や、別荘所有者たち、建設反対に署名した1万4千人は強い憤りを感じている。 よって、この度のルート変更後の「B案ルート」に対する住民アンケートを改めて行う義務が、国交省や山梨県、北杜市にはある。 また*****も今年の年頭に「広報ほくと」で語っていたように「現在は北杜市は財政難」である。	

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

自025-39

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

:国に対する意見

:国・市に対する意見

No.	内容	対応案
	どれだけの借金を、北杜市民は本意に背負わなければならないのでしょうか？ 北杜市内の中部横断自動車道は『141号線の整備拡充か、141号線沿いに高規格道路化』にした方が、大幅に経費を削減できるので、財政的にも景観的にも良く、そして何よりも「住民にとって一番利用価値の高い形」になる！ *****も「北杜市内の中部横断道は、高速道路ではなく、国道141号線に沿った高規格道路にするのが一番よい。」とおっしゃっていた。 30年も前に出された中部横断自動車道の高速作り案を、なぜ今実行しなければならないのか？？ 住民たちは、「*****がなぜ説明して下さらないのか？」大いに疑問である。 是非、*****に説明会を開いていただきたい。 北杜市の生命線である観光・農業・商業のためにも、これ以上、北杜市の環境の素晴らしさを失ってはならない。 またB案ルート沿いには、肺癌治療の為や、化学物質過敏症のために、大気汚染や化学物質の影響が少ないという理由で、わざわざ移住してきた病人の住人も多い。そのような病人の方達の意見を無視して、素晴らしいまちづくりができるのでしょうか？ またもしその病状が悪化した場合の補償は、どこがしてくれるのでしょうか？ また「震災対策のための高速道路」という子供だましの常套文句は、今や全国で問題視されているが、本当に住民の生命の危機を考えているならば、「新しい高速道路を作る前に、即刻北杜市内の国道141号線を整備改修すべきである」 141号線には崩落の危険性などがある場所が多く見られる。 この141号線の危険な状態は、国交省甲府河川事務所の*****の*****も、平成25年2月の住民意見交換会で認めている。 北杜市には作られてから半世紀(50年)を超えている橋などのインフラがどれほどあるのか、県や市は把握しているのだろうか？ 老朽化インフラの改修を急ぐ責任が山梨県や北杜市には大いにある。 それとも再び「笹子トンネル事故」のような惨事が起こるまでは、見て見ぬふりをするのだろうか？ そのようなことが全国民に許されるはずがない。 老朽インフラ整備にどれだけの経費が必要なのか、北杜市は算出できているのだろうか？ 来年度の老朽インフラ整備のための予算額を計上し、市民に発表していただきたい。 高速建設ではなく、まずは老朽インフラの改修と整備を行うことが、「北杜市のまちづくり」の第一歩であると言える。 山梨県の公務員の方達は、「現代は「インフラを「作る」という時代から、老朽インフラを「繕う」時代に移行したことを、早く自覚していただきたい。一部の利権者による、目先の私利私欲や地位名譽のために、これ以上北杜市の借金を増やしたり、北杜市民の財産を奪わないでほしい。 少子化時代なのに、これ以上借金を増やしてしまったら、将来も北杜市に住みたいと思わなくなるであろう。 すると北杜市の過疎化はさらに進んでいくであろう。 明野処分場のように、55億円という「とんでもない額の借金」を残して、責任が取れないような無責任で先が計算できない*****たちは、恥を知り、新しいまちづくりに参加しない方がよいのではないか？ 北杜市役所の皆さん、どうか未来に禍根を残さないような選択をする勇氣を持ってください。 北杜市に安心して住めるようになるかどうかは、今の大人の責任です。 自然のそのまゝの姿を愛して、きれいな空気を求めて、観光に来たり、移住してきたり、登山をしたりする人達は北杜市に来るのですよね？ 北杜市に高速道路ができて喜ぶ人は「ただ長野に早く行きやすくなる」という理由だけですよね。 北杜市は通過されるだけです。 *****、公務員の皆さん、なぜ観光客や移住者が北杜市に増えているか、その理由を当然ご存知ですよね？ 景色だけではなく、目に見えない「空気」や「静けさ」、そして美しい星を見るための「夜の暗さ」が重要なのです！！ だとしたら、高速なんかできたら、北杜市の貴重な資産が失われてしまいます。 どうか「北杜市内の中部横断道は、高速道路ではなく、国道141号線を整備拡充するか、141号線に沿って高規格道路化を進めること」を希望します！ 北杜市に高速道路は、これ以上必要ありません。 以上、よろしく願い申し上げます。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「141号線の整備拡充」、「141号線には崩落の危険性などがある場所が多く見られる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「北杜市の生命線である観光・農業・商業のためにも、これ以上、北杜市の環境の素晴らしさを失ってはならない」、「大気汚染や化学物質の影響が少ない」、「自然のそのまゝの姿を愛して、きれいな空気を求めて、観光に来たり、移住してきたり、登山をしたりする人達は北杜市に来るのですよね?」、「景色だけではなく、目に見えない「空気」や「静けさ」、そして美しい星を見るための「夜の暗さ」が重要なのです!!」、「高速なんかできたら、北杜市の貴重な資産が失われてしまいます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。 また、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に「澄んだ空気」という文言を追記します。 「これ以上北杜市の借金を増やしたり、北杜市民の財産を奪わないでほしい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。 「北杜市は通過されるだけです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。
102	まだ中部横断道に関して最終決定していないのに、「中部横断道を見据えたまちづくり」のパブリックコメントを募集すること自体が、無駄でナンセンスであると思う。 ルートに関係なく、北杜市内に高速道路を建設することには反対です。 北杜市内では、中部横断道は高速道路ではなく、国道141号線を拡充整備するか、141号線に沿って、高規格道路化にしていきたいと思います。 未来の子供達に、負の遺産を残さない努力をすることが、まちづくりを考える時に大切な配慮だと思ふ。 高速道路は、まさしく負の遺産になる。 少子高齢化の時代なので、市の借金を減らし、少しでも老人や若い人達が暮らしやすいように福祉を充実させた方がいい。 「高速道路があるまちづくり」なんて、現代ではナンセンスで、茶番劇のようである。 もっと時代に合った税金の使い方をするのは当然だと思う。 すなわち、「まちづくり」も高速建設前提ではなく、時代に合った現実的で有意義なアイデアを出さなければ、意味がなく、北杜市は衰退の一途をたどるしかなくなると思う。 私は北杜市を愛しているが、高速道路が進められたら、県外へ移住する予定です。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号線を拡充整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書(平成26年7月11日)

参考資料 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会におけるパブリックコメントにおける所掌外の意見一覧(80件)

国に対する意見

国・市に対する意見

自025-40

No	内容	対応案
105	まず、「高速ありき」のまちづくりには賛成できません。 新ルートに関するアンケート調査を、平成23年と平成24年と同様に北杜市全体の住民や別荘の人達に実行していただきたいです。 ハケ岳南麓への高速建設は、環境・景観・観光に多大なダメージを与えるだけでなく、北杜市の少子高齢化により、将来、子供達に多額の借金を残すことになります。 我が家には、二人の子供がおりますが、「この先、ハケ岳南麓に高速道路ができたり、借金ばかり背負わされるならば、将来は北杜市に住まない。」と申します。 高速道路計画に対して、中学生や高校生の子供達は冷静に判断し、失望したり、あきれています。また大人達の無責任さを嘆いています。 どうか全国の子供達の財産である自然や環境や美しい景色を奪わないで下さい。 全国のハケ岳ファンが愛する雄大な自然や、景色、きれいな空気、暗い夜空に輝く星、そして静けさ。それらは町や都会では手に入らないのです。 私達人間が「壊さないように努力すること」が、最も大切な「まちづくり」だと思います。「私達も自然の一部であること」を再認識した上で、みんなで「まちづくり」をしましょう。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「ハケ岳南麓への高速建設は、環境・景観・観光に多大なダメージを与えるだけでなく、北杜市の少子高齢化により、将来、子供達に多額の借金を残すことになります」、「自然や環境や美しい景色を奪わないで下さい」、「私達人間が「壊さないように努力すること」が、最も大切な「まちづくり」だと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。 「ハケ岳南麓に高速道路ができたり、借金ばかり負わされるならば、将来は北杜市に住まない。」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。 「全国のハケ岳ファンが愛する雄大な自然や、景色、きれいな空気、暗い夜空に輝く星、そして静けさ。それらは町や都会では手に入らないのです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に『澄んだ空気』という文言を追加します。
106	この件については、3～4年前からいろいろなところでいろいろな形で住民との意見交換会が開かれました。私もいくつかの説明会に出席し、内容と課題について承知したつもりです。 大半の意見は、この地域に高速道路は不要、せいぜい141号の改修で十分だと。 ところが、いつの間にかこうした意見は無視されたように高速道路を活用するにはどうしたらよいかに変わってしまいました。 しかも、変わった経緯については残念ながらほとんど知らされていません。 今必要なのは、変わったのであればなぜそうなったか、今からでも住民説明会を開くなどして変わった理由を教えてください。 残念ですが当事者である北杜市の顔が見えません。 今からでも遅くないと思います。	頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改修で十分」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「高速道路を活用するにはどうしたらよいかに変わってしまいました」に関しては、北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、中部横断自動車道の整備を見据え、北杜市の思われた地域特性を踏まえながら、地域の活性化に結びつける取組等を住民自らが主体的かつ計画的に推進するためのまちづくり構想を検討するために設置されております。